

秋田自動車道  
和賀仙人トンネル東工事

設 計 図

( 5 / 9 )

【 本線：附帯工 】

令和8年5月

東日本高速道路株式会社 東北支社  
横手工事事務所

目次  
( 5 / 9 )

【 本線：附帯工 】

1 . 記号説明表	1
-----------	---

○土押え

2 . 土押え工 位置図	2
--------------	---

3 . STA.32+41.6 北上西10 土押え詳細図 (1) ~ (2)	3 ~ 4
--	-------

4 . STA.35+30 北上西11 土押え詳細図 (1) ~ (2)	5 ~ 6
--------------------------------------	-------

○岩沢工事用道路①

5 . 位置図	7
---------	---

6 . 平面図	8
---------	---

7 . 縦断図	9
---------	---

8 . 標準横断図	10
-----------	----

9 . 横断図 (1) ~ (3)	11 ~ 13
-------------------	---------

10 . 工事用道路整備工 平面図	14
-------------------	----

11 . L 型擁壁工詳細図	15
----------------	----

12 . 撤去平面図	16
------------	----

13 . 撤去詳細図	17
------------	----

○岩沢工事用道路②

14 . 平面図	18
----------	----

15 . 縦断図	19
----------	----

16 . 標準横断図	20
------------	----

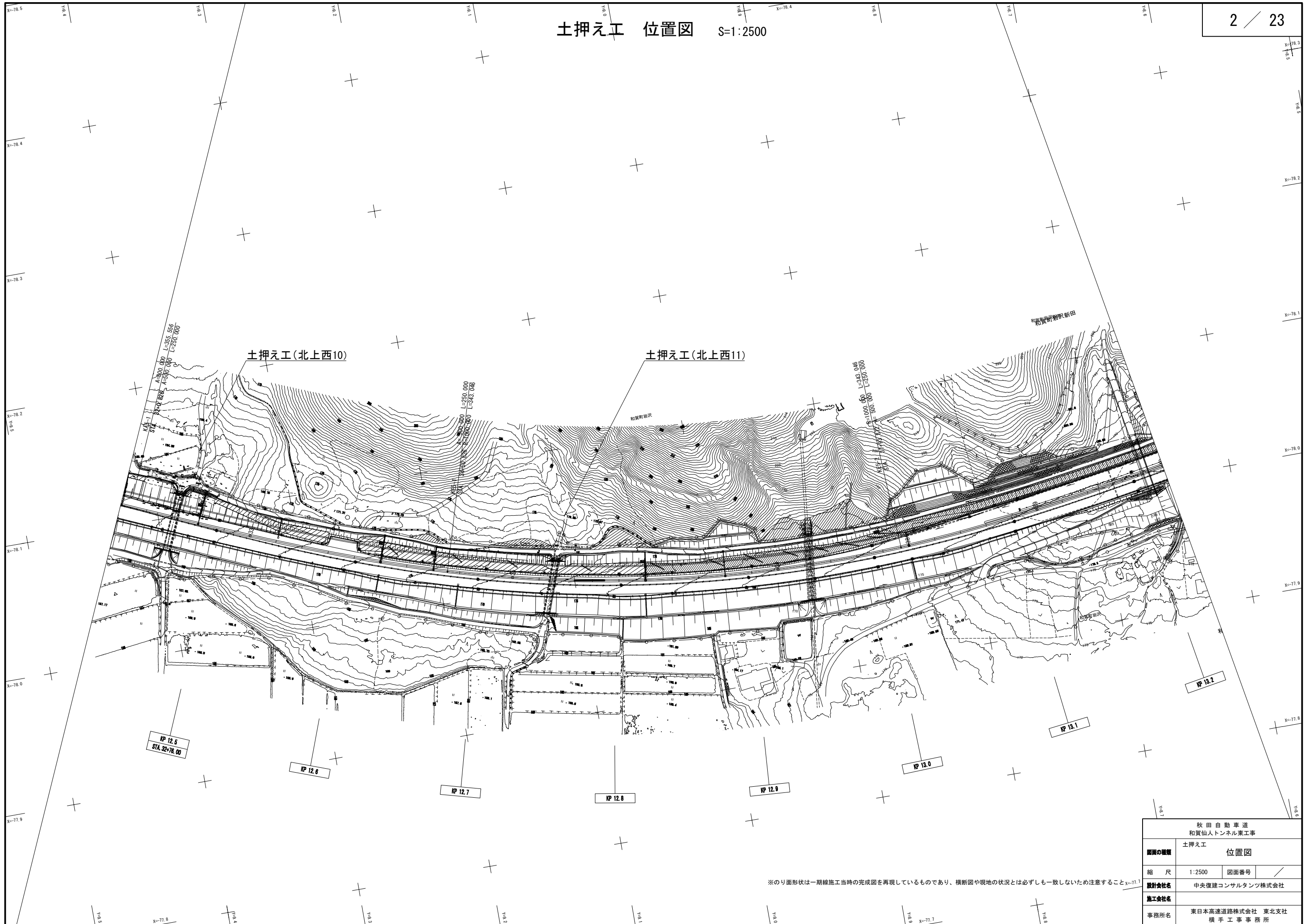
17 . 横断図 (1) ~ (2)	21 ~ 22
--------------------	---------

18 . 工事用道路整備工 平面図	23
-------------------	----



土押え工 位置図 S=1:2500

2 / 23



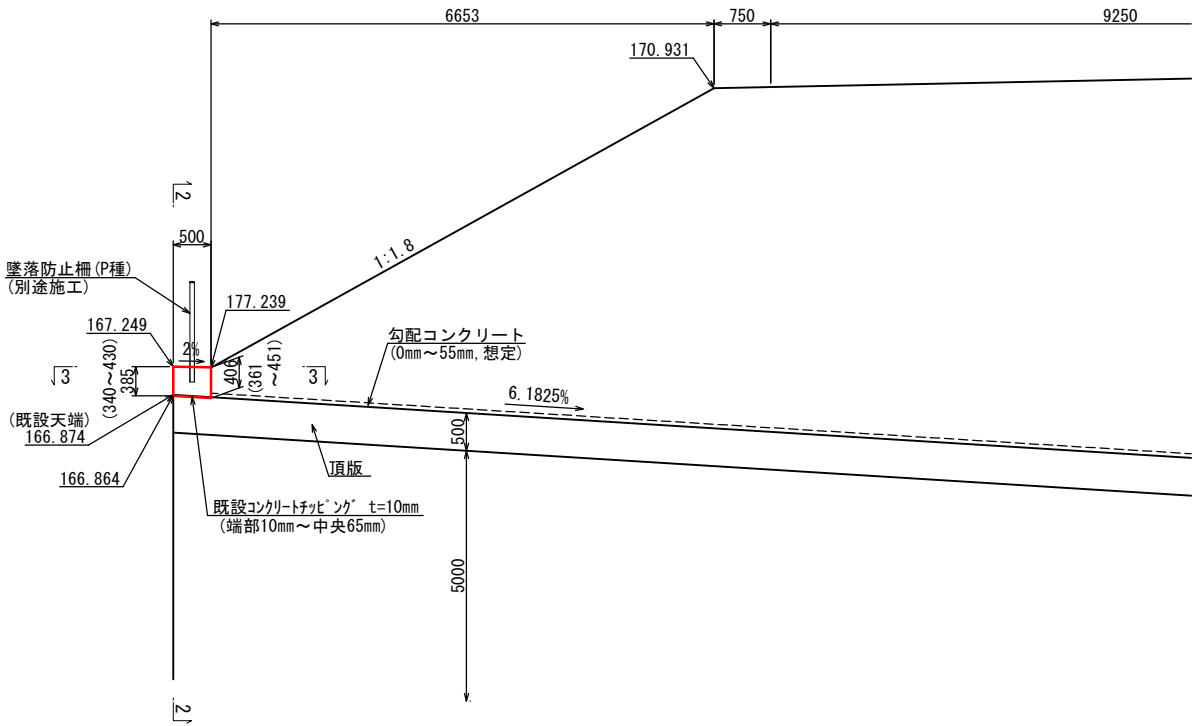
※のり面形状は一期線施工当時の完成図を再現しているものであり、横断面や現地の状況とは必ずしも一致しないため注意すること

秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事			
画面の種別	土押え工		位置図
縮尺	1:2500	図面番号	／
設計会社名	中央復建コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

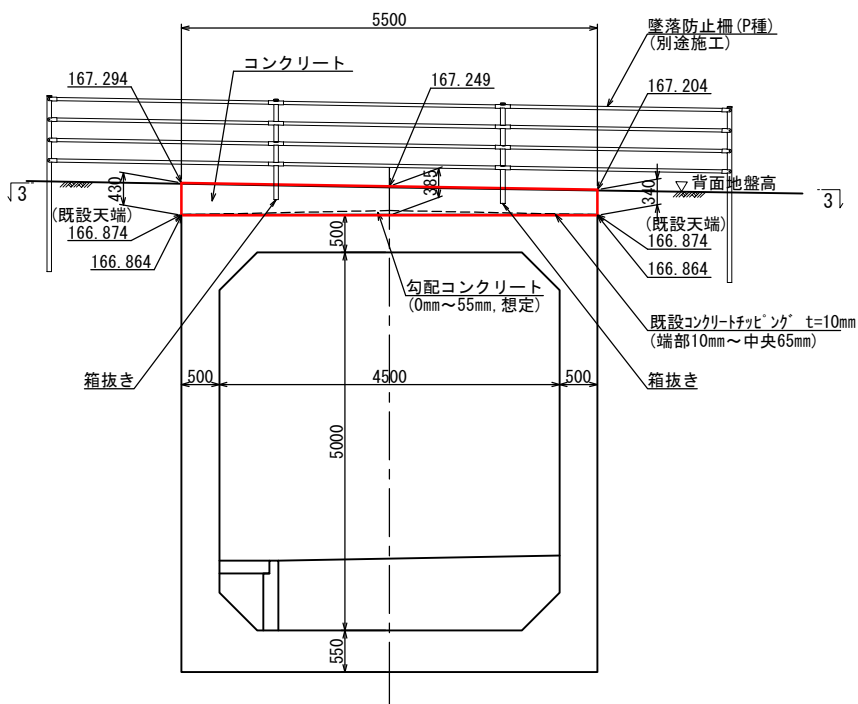


STA. 32+41.6 北上西10 土押え詳細図(1)

側面図（１－１） S=1:100



断面図（２－２） S=1:100



使用材料の規格および許容応力度

コンクリート	
設計基準強度	30 N/mm <sup>2</sup>
許容曲げ圧縮応力度	10 N/mm <sup>2</sup>
許容せん断応力度	0.25 N/mm <sup>2</sup>
許容付着応力度	1.8 N/mm <sup>2</sup>
骨材の最大寸法	25 mm
鉄筋 (SD345)	
降伏点応力度	345 N/mm <sup>2</sup>
許容引張応力度	180 N/mm <sup>2</sup>

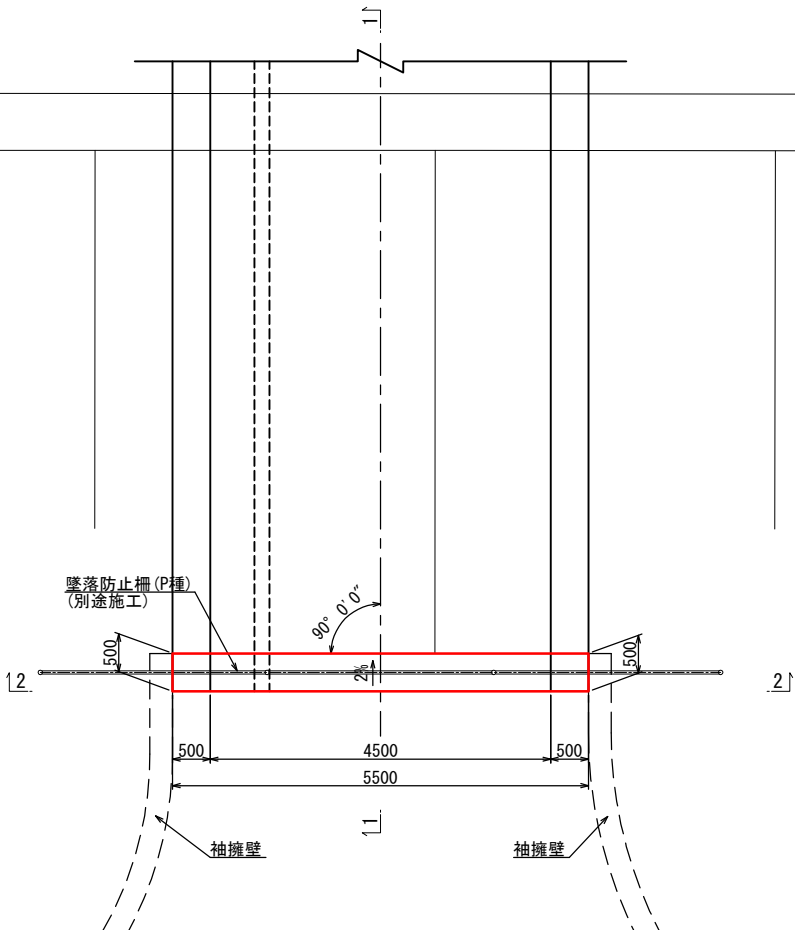
数量表

1基当り

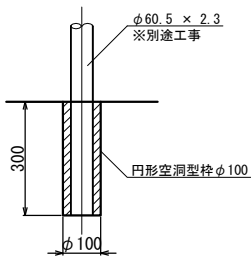
項目	種別	単位	数量	摘要
土押え工		m	5.5	
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =30N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	1.1	
型わく	(C)	m <sup>2</sup>	4.7	
鉄筋 (SD345)	A	D13	t	0.052
		D16~D25	〃	---
		鉄筋A計	〃	0.052
アンカー工	D13用	本	46	接着系あと施工アンカー
既設はつり工	チッピング	m <sup>2</sup>	2.8	
はく落防止対策工A	繊維シート	m <sup>2</sup>	2.1	
足場工		空m <sup>3</sup>	32.1	

注1) 既設カルバートが劣化している状況では、接合面として所定の効果が得られないためチッピングを行うこと。  
チッピングの深さは10mmとしているが、施工時にコンクリートの劣化状況を確認し適宜チッピングの深さを決めること。  
注2) 土押え設置部分の勾配コンクリートは、チッピング時に撤去し平らに均すものとする。  
注3) 墜落防止柵は別途施工とする。支柱の基礎構造や位置等の詳細は別途設計を確認すること。

平面図（３－３） S=1:100



立入防止柵基礎箱抜き詳細図 S=1:200



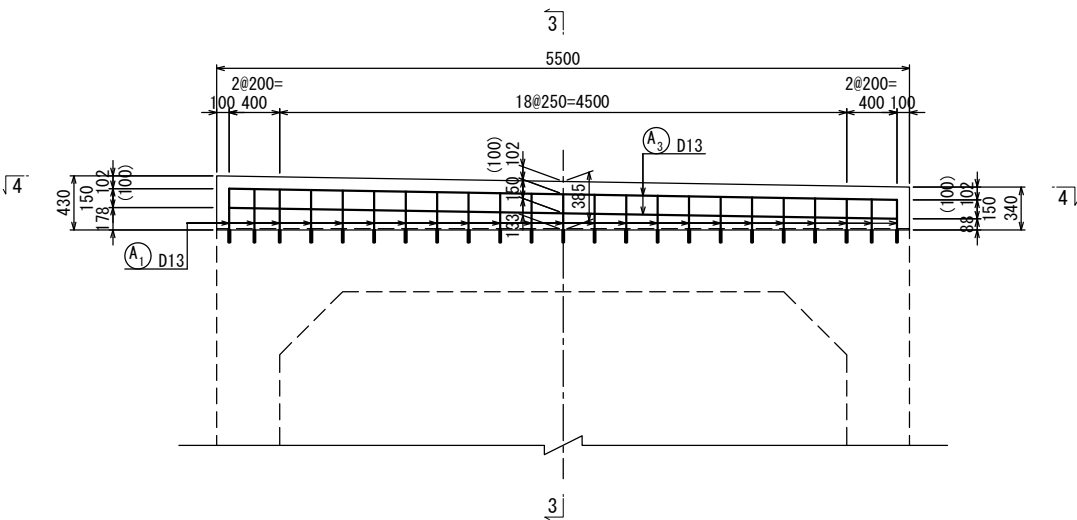
数量表(立入防止柵基礎箱抜き)

10箇所当り

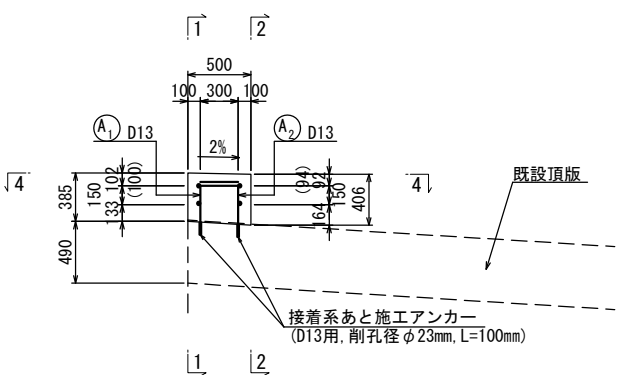
名称	規格	単位	数量	摘要
円形空洞型枠	φ100	m	3.00	

秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事			
図面の種類	STA. 32+41.6 北上西10 土押え詳細図(1)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	中央復建コンサルタンツ株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社		
事務所名	横手工務事務所		

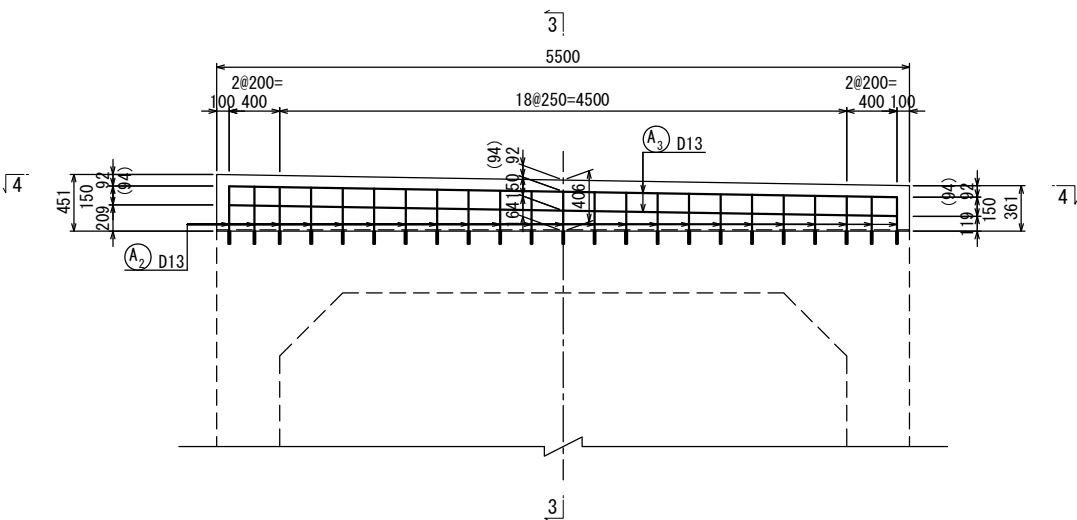
1 - 1 (土押え前面) S=1:60



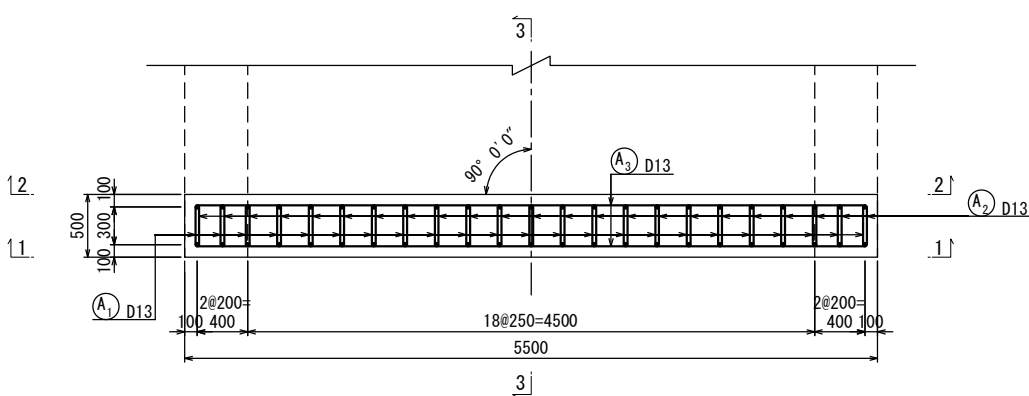
3 - 3 (側面図) S=1:60



2 - 2 (土押え背面) S=1:60



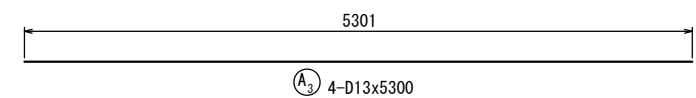
4 - 4 (平面図) S=1:60



<div><p>(埋込厚)</p><p>300</p><p>100</p><p>L1</p><p>Ⓐ 23-D13x670</p><p><math>\Sigma L=L1+400-\Delta L</math> <math>=L1+383</math></p></div>				
番号	径	本数	L1	ΣL
A1-1	D13	1	326	709
2	D13	1	323	706
3	D13	1	320	703
4	D13	1	316	699
5	D13	1	312	695
6	D13	1	308	691
7	D13	1	303	686
8	D13	1	299	682
9	D13	1	295	678
10	D13	1	291	674
11	D13	1	287	670
12	D13	1	283	666
13	D13	1	279	662
14	D13	1	275	658
15	D13	1	271	654
16	D13	1	267	650
17	D13	1	263	646
18	D13	1	258	641
19	D13	1	254	637
20	D13	1	250	633
21	D13	1	246	629
22	D13	1	243	626
23	D13	1	240	623
平均	D13	23		666

$\textcircled{A_2}$  23-D13x700
  $\Sigma L=L1+400-\Delta L=L1+383$

番号	径	本数	L1	$\Sigma L$
A2-1	D13	1	357	740
2	D13	1	354	737
3	D13	1	351	734
4	D13	1	347	730
5	D13	1	343	726
6	D13	1	339	722
7	D13	1	334	717
8	D13	1	330	713
9	D13	1	326	709
10	D13	1	322	705
11	D13	1	318	701
12	D13	1	314	697
13	D13	1	310	693
14	D13	1	306	689
15	D13	1	302	685
16	D13	1	298	681
17	D13	1	294	677
18	D13	1	289	672
19	D13	1	285	668
20	D13	1	281	664
21	D13	1	277	660
22	D13	1	274	657
23	D13	1	271	654
平均	D13	23		697



鉄筋質量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
A 1	D13	670	23	0.995	0.667	15	(平均長)
2	D13	700	23	0.995	0.697	16	(平均長)
3	D13	5300	4	0.995	5.27	21	—
						合計	52
鉄筋A 集計 (SD345)							
D13						52 kg	
合計						52 kg	
接着系あと施工アンカー							
D13用						46 本	

鉄筋加工寸法表

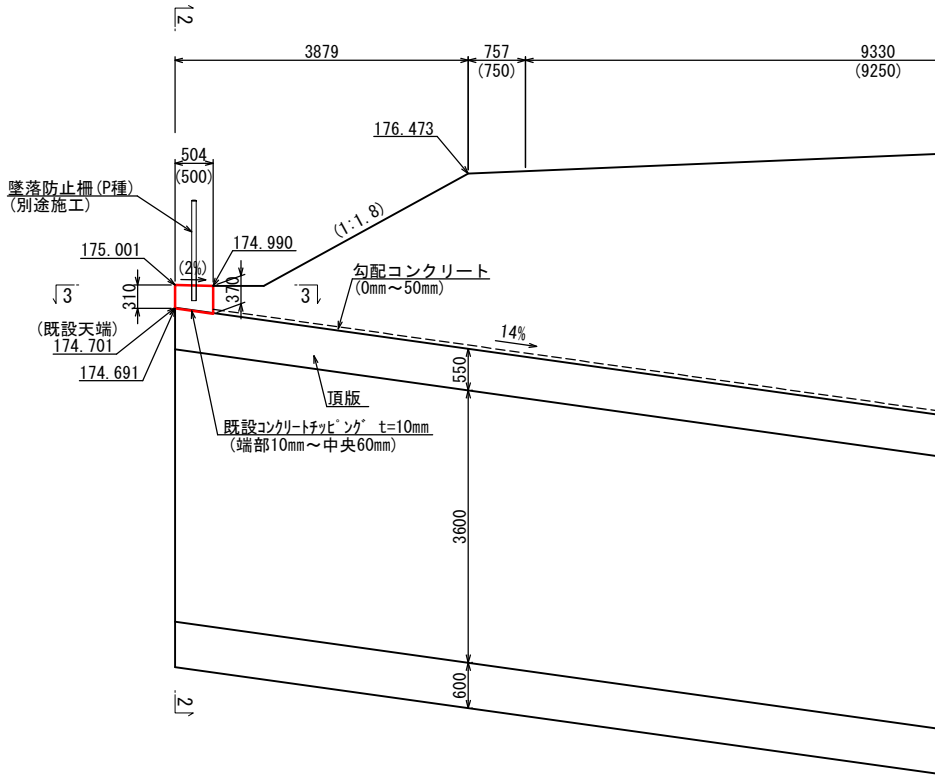
主筋						
主筋						
径	$\theta \leq 90^\circ$			$\theta = 135^\circ$		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	56	3
D16	48	75	21	88.0	69	4

- 注1) ( ) 内寸法は主筋位置 (A1, A2) でのかぶりを示す。  
注2) あと施工アンカー削孔時には、既設カルバートの鉄筋位置を確認し干渉する場合は適宜配筋を変更すること。  
注3) アンカー筋 (A1及びA2) については、アンカー側の先端を片面カット加工とする。  
注4) 既設コンクリートのチッピング深さ10mmを考慮した鉄筋長としているが、現場にて深さを変更する場合は必要に応じて鉄筋長を修正すること。

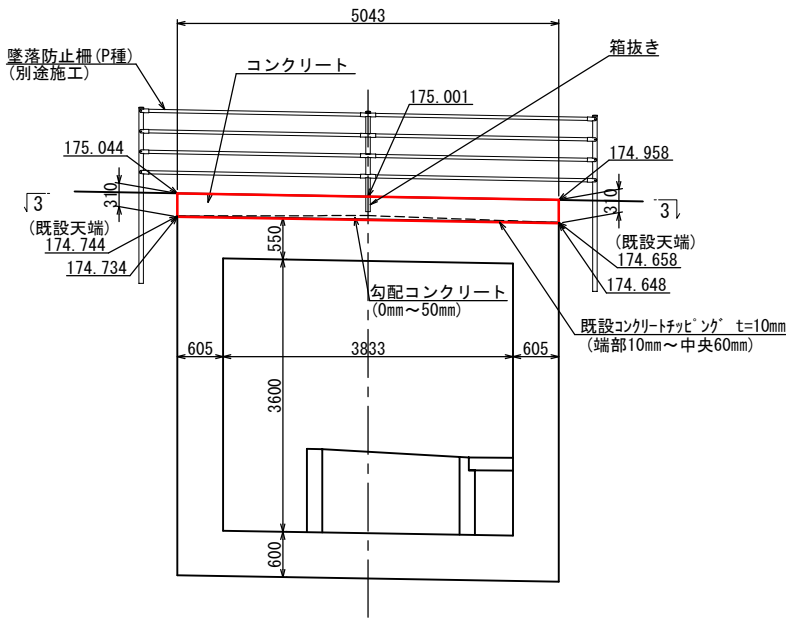
秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事			
図面の種類	STA. 32+41.6 北上西10 土押え詳細図(2)	図面番号	/
縮尺	1:60	設計会社名	中央復建コンサルタンツ株式会社
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工務事務所		

STA. 35+30 北上西11 土押え詳細図(1)

側面図 ( 1 - 1 ) S=1:100



断面図 ( 2 - 2 ) S=1:100

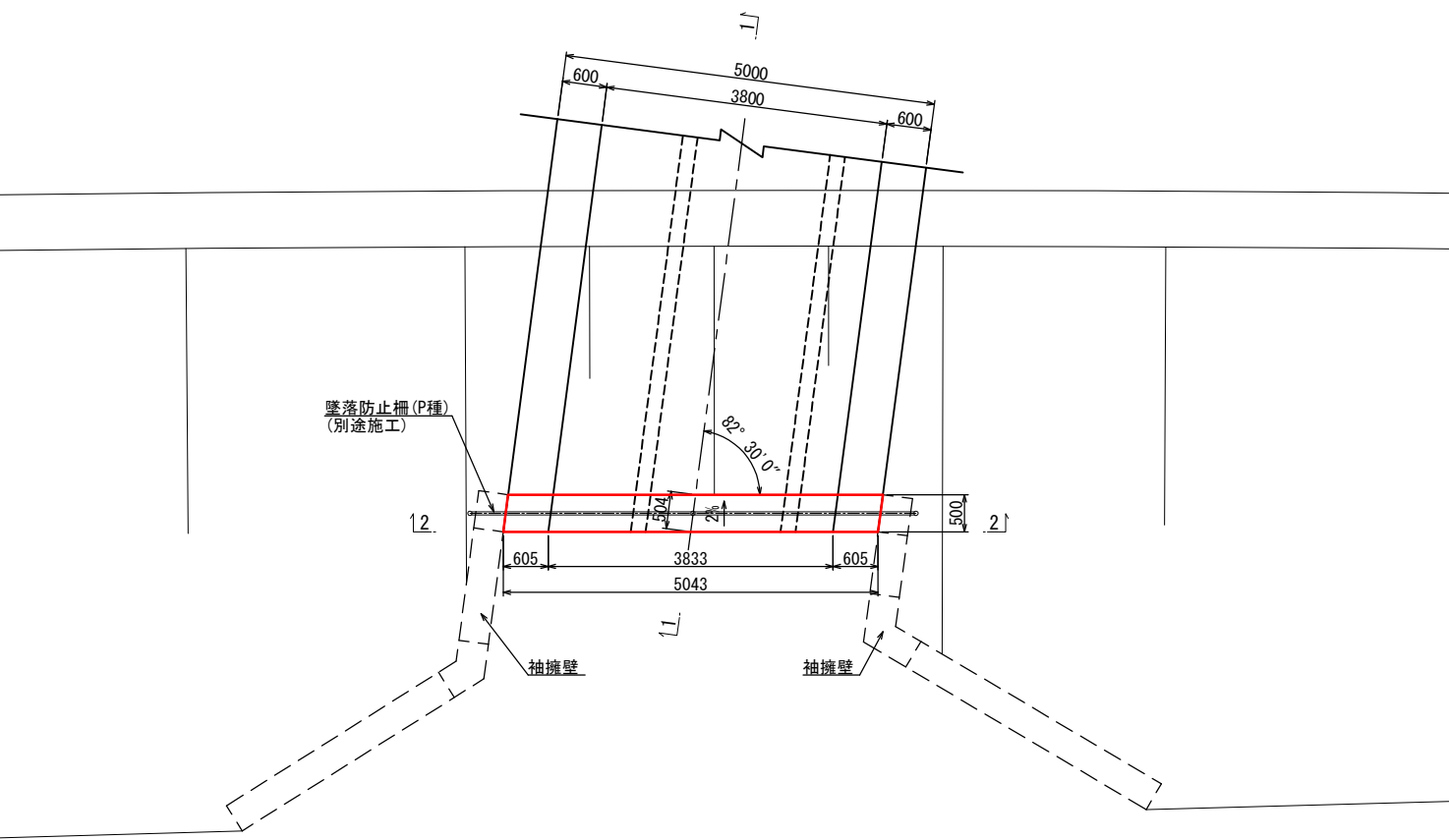


使用材料の規格および許容応力度	
コンクリート	
設計基準強度	30 N/mm <sup>2</sup>
許容曲げ圧縮応力度	10 N/mm <sup>2</sup>
許容せん断応力度	0.25 N/mm <sup>2</sup>
許容付着応力度	1.8 N/mm <sup>2</sup>
骨材の最大寸法	25 mm
鉄筋 (SD345)	
降伏点応力度	345 N/mm <sup>2</sup>
許容引張応力度	180 N/mm <sup>2</sup>

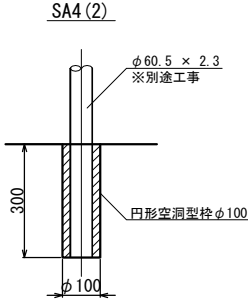
数量表					1基当り
項目	種別	単位	数量	摘要	
土押え設置工	土押え工	m	5.043		
	コンクリート	σck=30N/mm2	m <sup>3</sup>	0.9	
	型わく	(C)	m <sup>2</sup>	3.8	
	鉄筋 (SD345)	D13	t	0.045	
		D16~D25	"	---	
		鉄筋A計	"	0.045	
	アンカー工	D13用	本	42	接着系あと施工アンカー
	既設はつり工	チップング	m <sup>2</sup>	2.5	
足場工			空m <sup>3</sup>	19.6	

注1) 既設カルバートが劣化している状況では、接合面として所定の効果が得られないためチップングを行うこと。  
チップングの深さは10mmとしているが、施工時にコンクリートの劣化状況を確認し適宜チップングの深さを決めること。  
注2) 土押え設置部分の勾配コンクリートは、チップング時に撤去し平らに均すものとする。  
注3) 壁落防止柵は別途施工とする。支柱の基礎構造や位置等の詳細は別途設計を確認すること。

平面図 ( 3 - 3 ) S=1:100



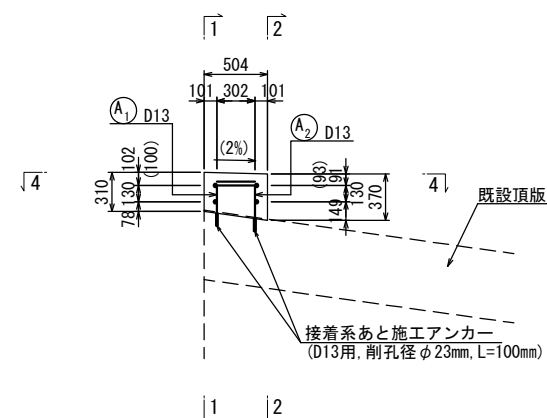
立入防止柵基礎箱抜き詳細図 S=1:200



数量表 (立入防止柵基礎箱抜き)					10箇所当り
名称	規格	単位	数量	摘要	
円形空洞型枠	φ100	m	3.00		

秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事			
図面の種類	STA. 35+30 北上西11 土押え詳細図(1)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	中央復建コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

3 - 3 (側面図) S=1:60



(埋込量)

100 208

302

(A<sub>1</sub>) 21-D13x590

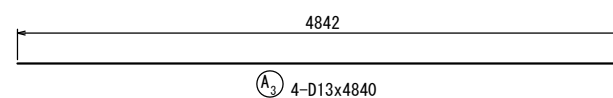
302

279

100

(埋込量)

(A<sub>2</sub>) 21-D13x660



記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要	
A	1	D13	590	21	0.995	0.587	12	①
	2	D13	660	21	0.995	0.657	14	②
	3	D13	4840	4	0.995	4.82	19	—
					合計	45		

鉄筋A 集計 (SD345)		
D13	45	kg
合計	45	kg
接着系あと施工アンカー		
D13用	42	本

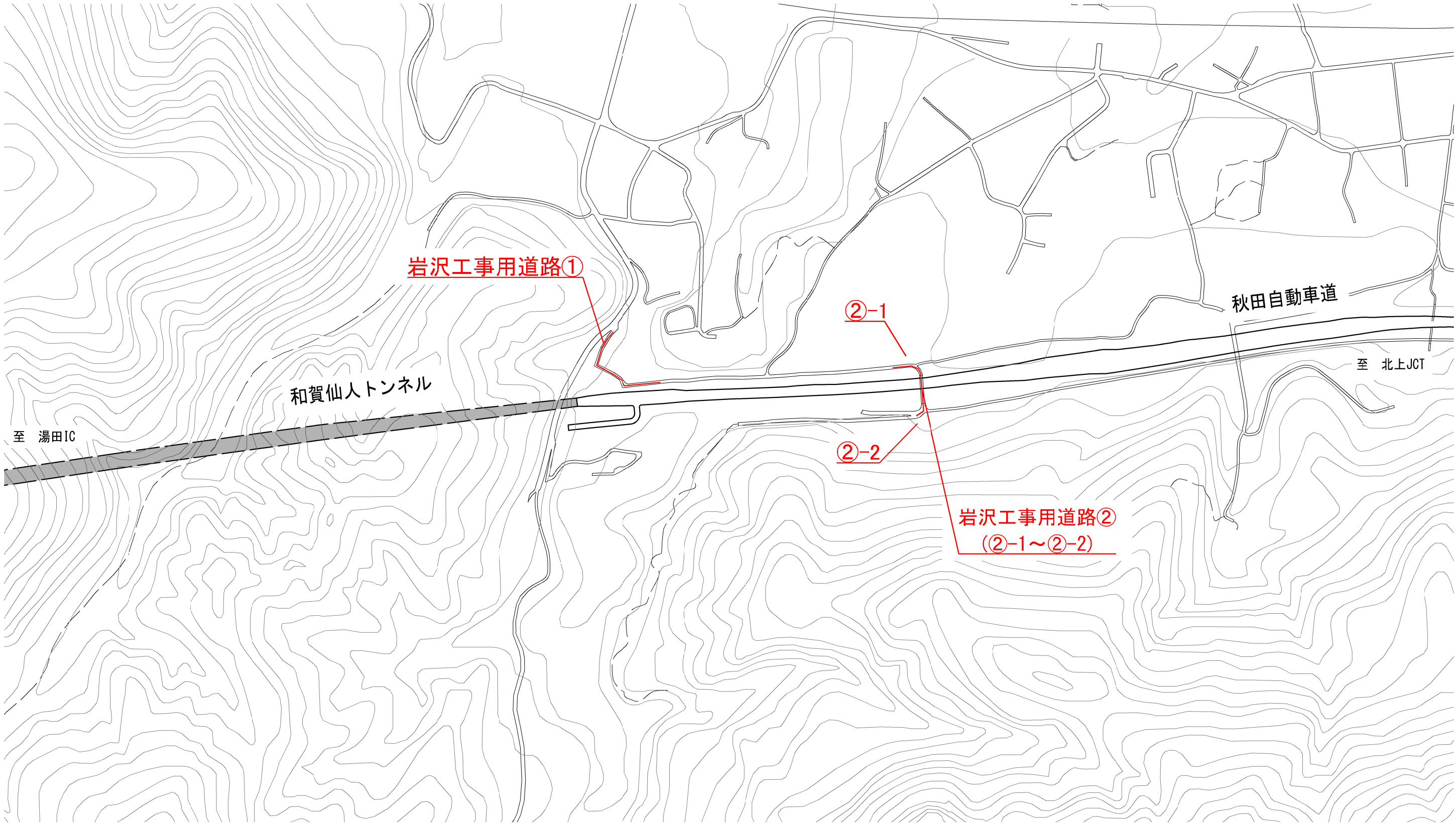
主 筋

$\Delta L = 2R - a$

注1) ( ) 内寸法は主筋位置 (A1, A2) でのかぶりを示す。  
 注2) あと施工アンカー削孔時においては、既設カルバートの鉄筋位置を確認し干渉する場合は適宜配筋を変更すること。  
 注3) アンカー筋 (A1及びA2) については、アンカー側の先端を片面カット加工とする。  
 注4) 既設コンクリートのチッピング深さ10mmを考慮した鉄筋長としているが、現場にて深さを変更する場合は必要に応じて鉄筋長を修正すること。

秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事			
図面の種類	STA. 35+30 北上西11 土押え詳細図(2)		
縮 尺	1:60	図面番号	/
設計会社名	中央復建コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 橋杭工事事務所		

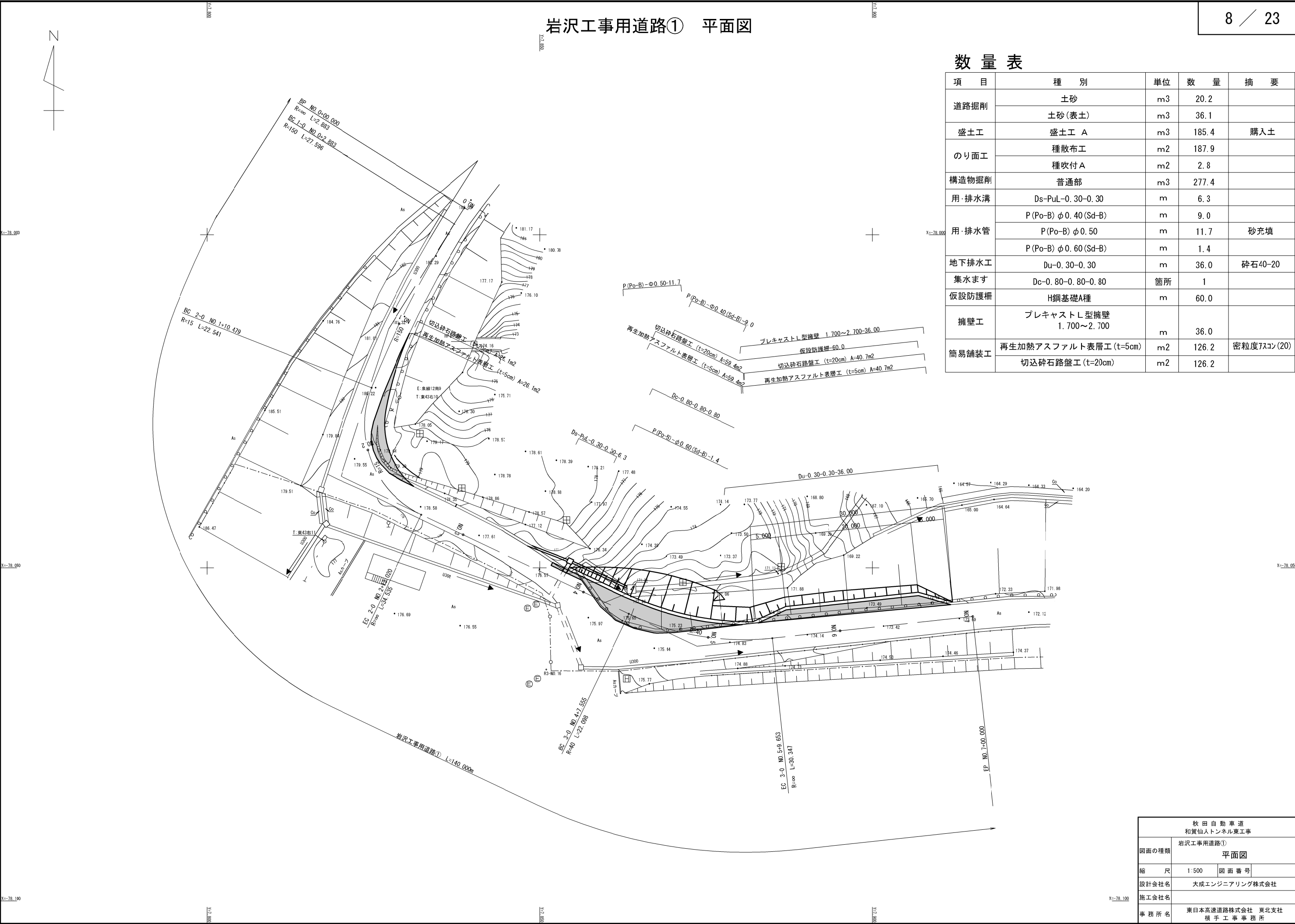
位置図  
岩沢工事用道路



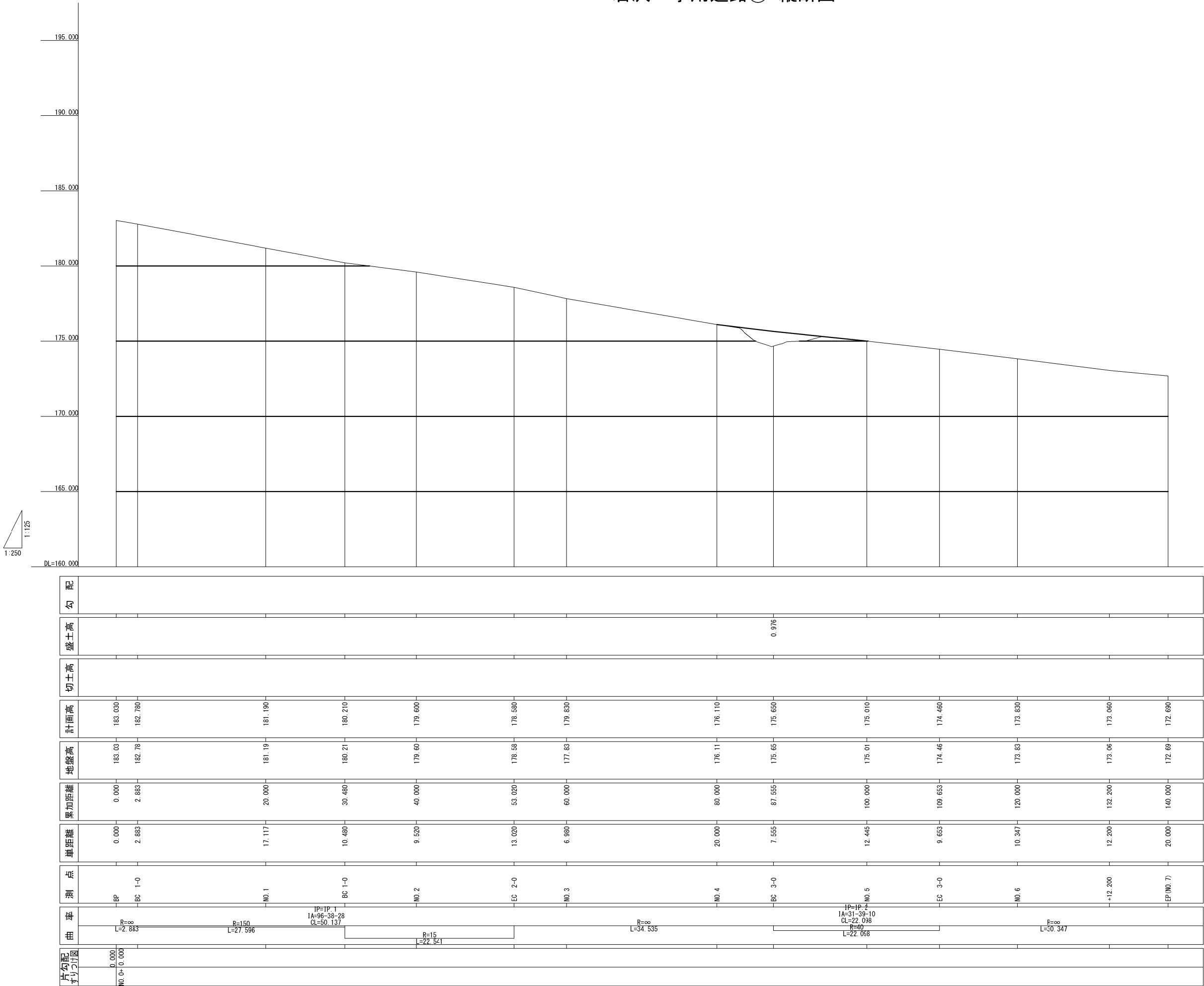
秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事			
図面の種類	岩沢工事用道路 位置図		
縮 尺	1/5000	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横 手 工 事 務 所		

数 量 表

項 目	種 別	単位	数 量	摘 要
道路掘削	土砂	m3	20.2	
	土砂(表土)	m3	36.1	
盛土工	盛土工 A	m3	185.4	購入土
のり面工	種散布工	m2	187.9	
	種吹付A	m2	2.8	
構造物掘削	普通部	m3	277.4	
用・排水溝	Ds-PuL-0.30-0.30	m	6.3	
	P(Po-B)φ0.40(Sd-B)	m	9.0	
	P(Po-B)φ0.50	m	11.7	砂充填
地下排水工	P(Po-B)φ0.60(Sd-B)	m	1.4	
	Du-0.30-0.30	m	36.0	碎石40-20
集水ます	Dc-0.80-0.80-0.80	箇所	1	
仮設防護柵	H鋼基礎A種	m	60.0	
擁壁工	プレキャストL型擁壁 1.700~2.700	m	36.0	
	再生加熱アスファルト表層工(t=5cm)	m2	126.2	密粒度13コン(20)
簡易舗装工	切込碎石路盤工(t=20cm)	m2	126.2	



秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事			
図面の種類	岩沢工事用道路① 平面図		
縮 尺	1:500	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横 手 工 事 事 務 所		



秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事			
図面の種類	岩沢工事用道路① 縦断面図		
縮尺	V=1:125 H=1:250	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

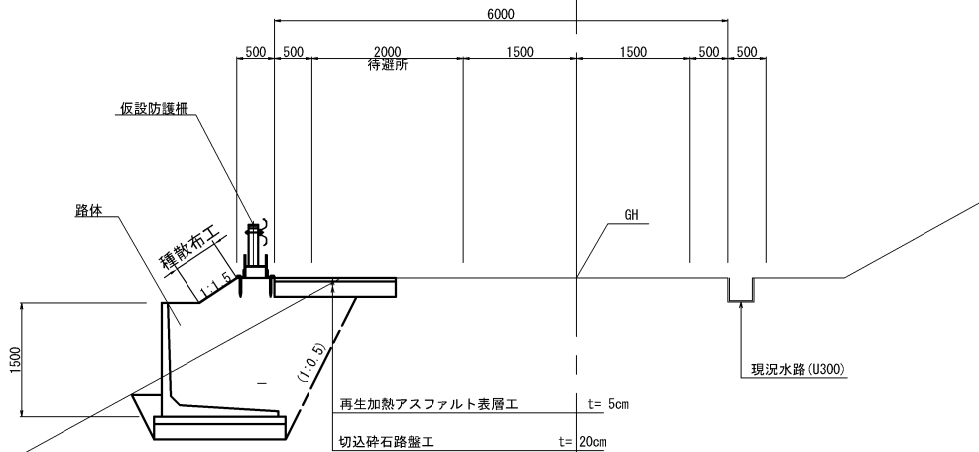
盛土部（待避所拡幅部）

NO. 6+00

GH=173. 83

PH=173. 830

ℓ



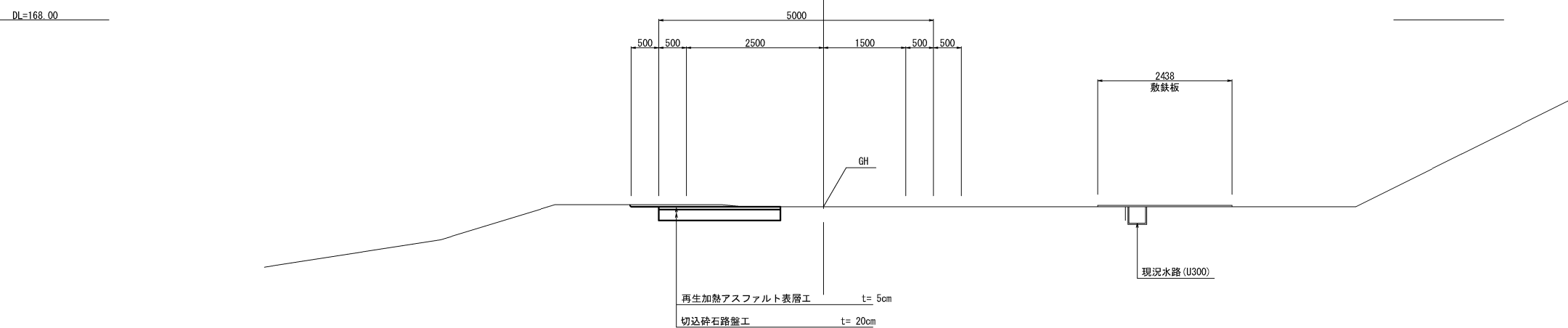
曲線拡幅部

NO. 2+00

GH=179. 60

PH=179. 600

ℓ



用排水管

P (Po-B) - φ 0. 50



砂 A=0. 054m<sup>3</sup>

材 料 表

10m当り

項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要
P (Po-B) - φ 0. 50	高密度ポリエチレン管	m	10	
砂		m <sup>3</sup>	0. 54	

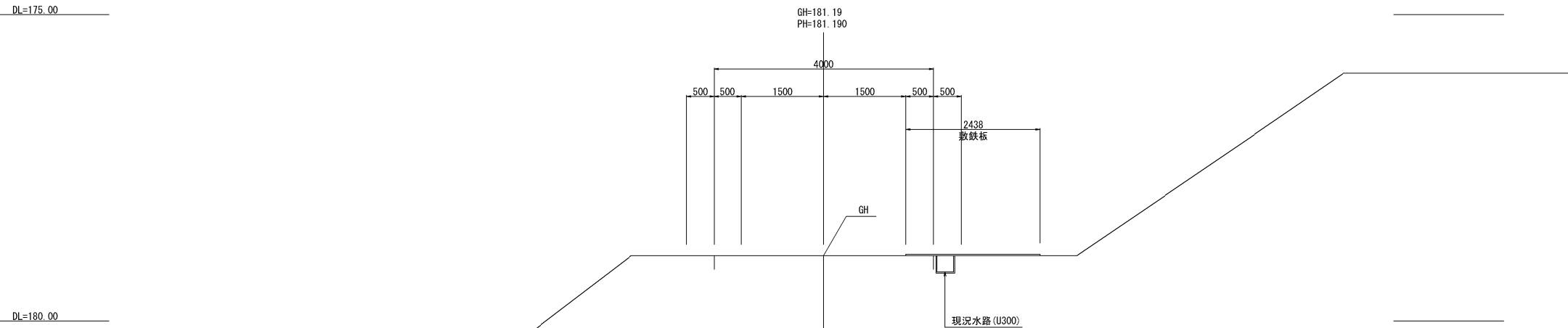
現況部

NO. 1+00

ℓ

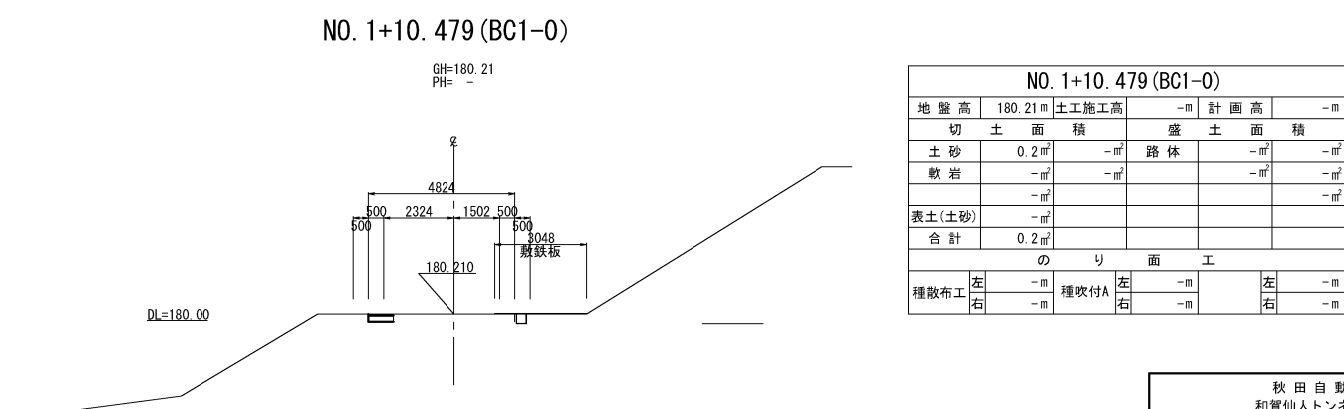
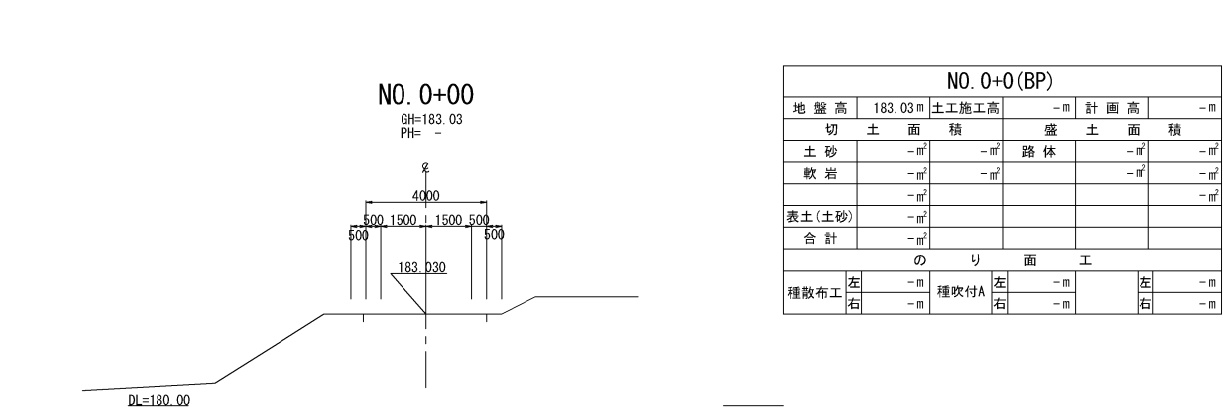
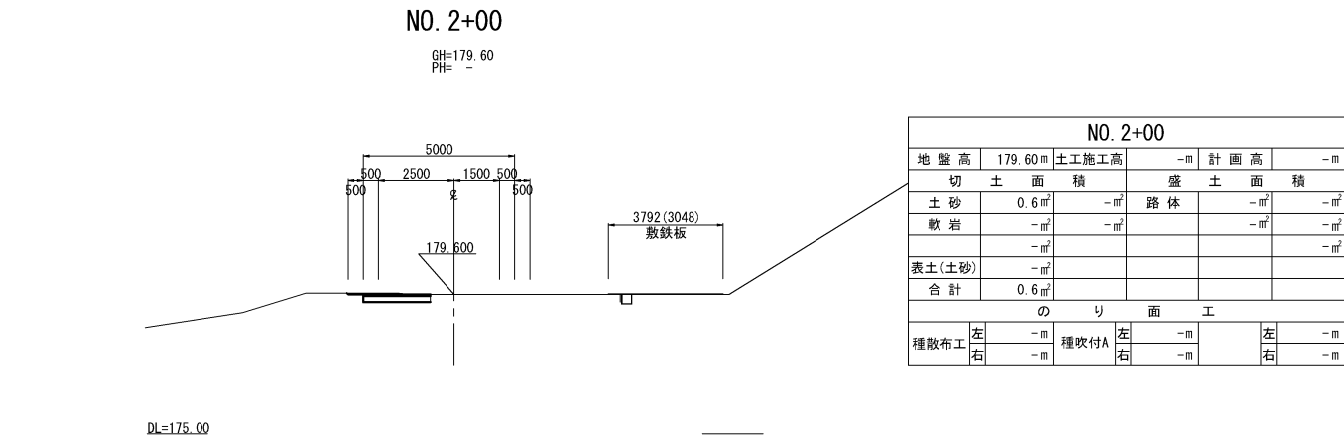
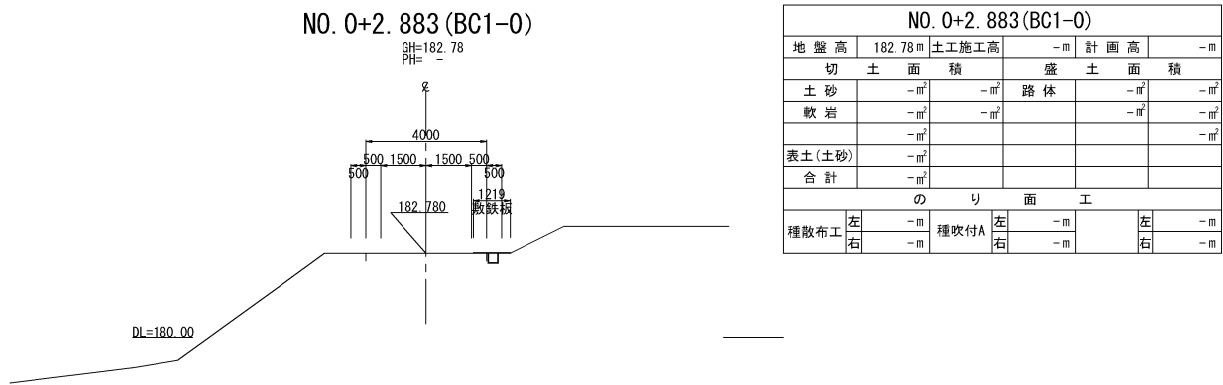
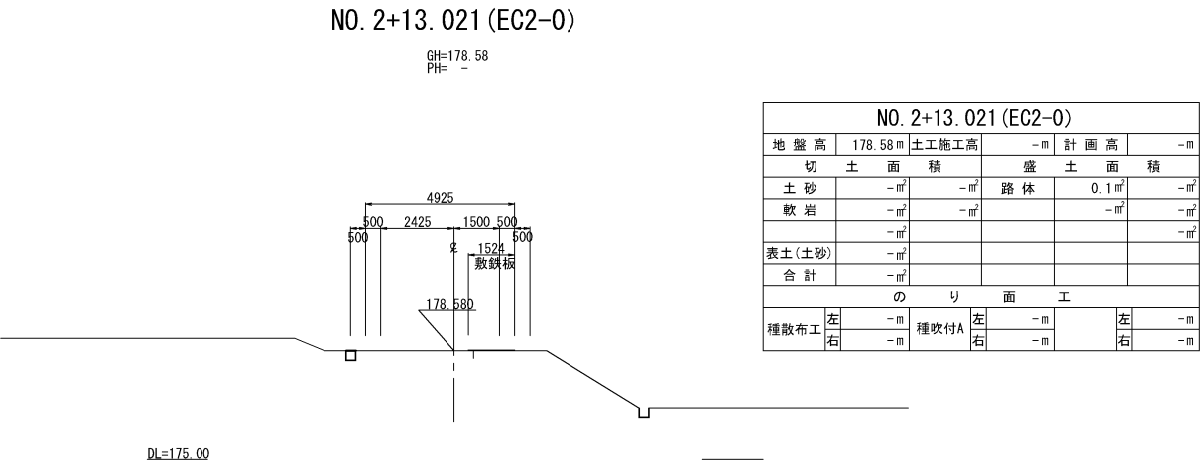
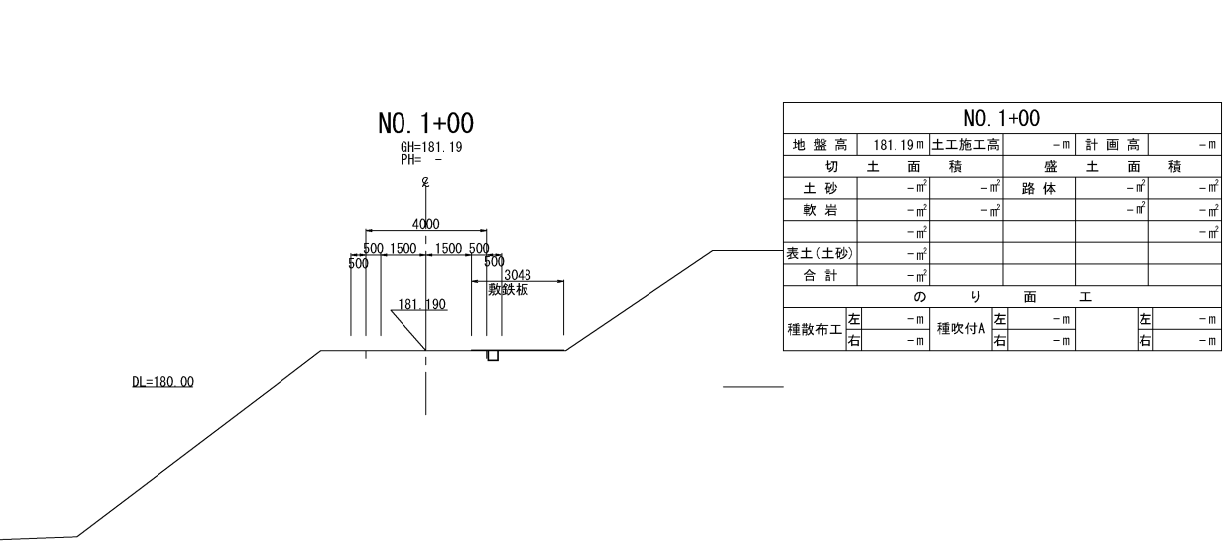
GH=181. 19

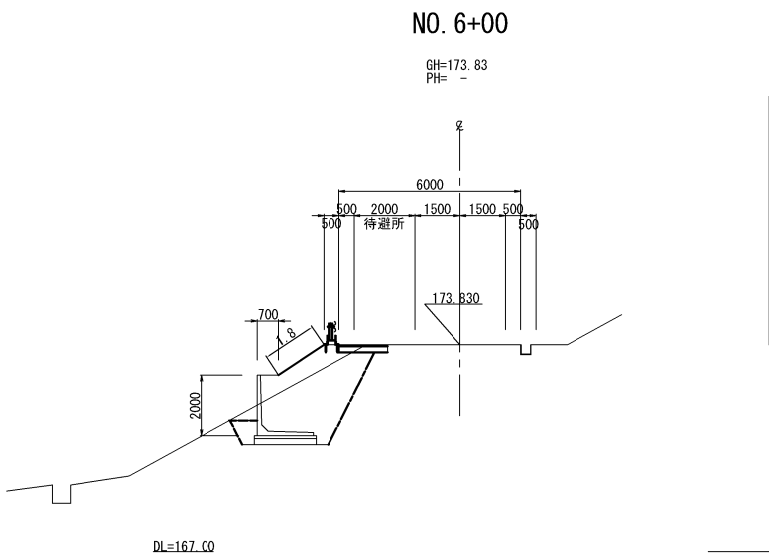
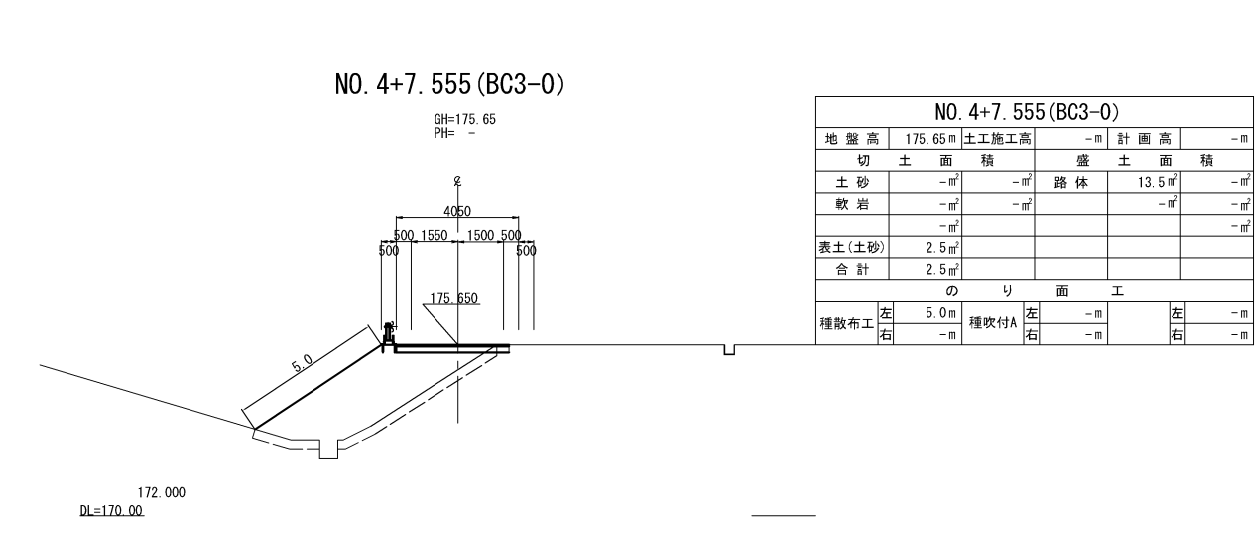
PH=181. 190



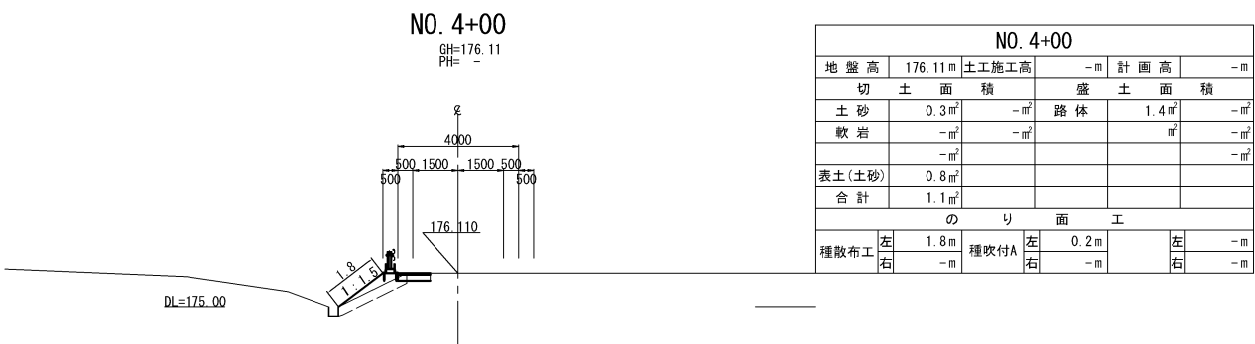
秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事			
図面の種類	岩沢工事用道路① 標準横断図		
縮 尺	1:100	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 東北支社 積 手 工 事 務 所		



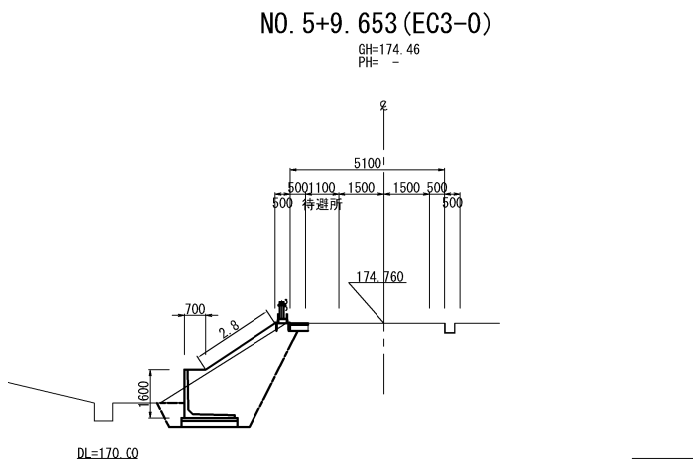




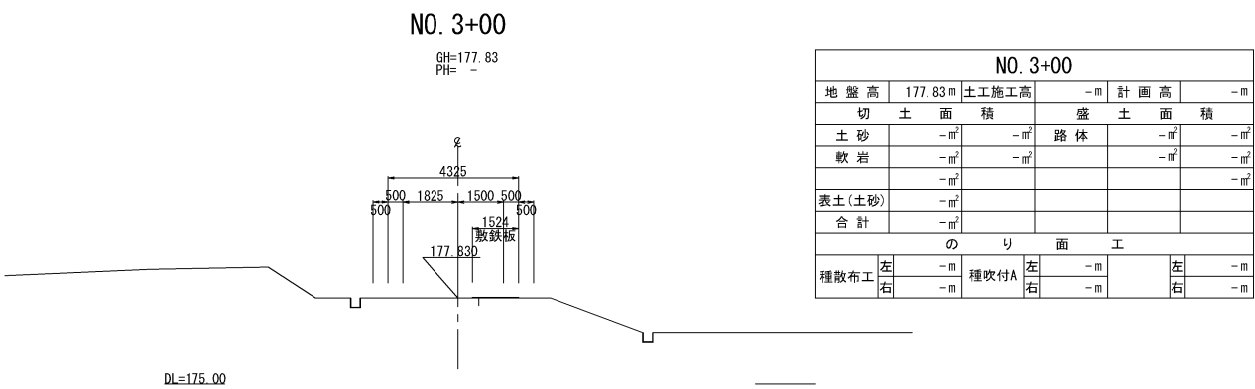
NO. 6+00					
地盤高	173.83m	土工施工高	-m	計画高	-m
切土面積		盛土面積			
土砂	0.2㎡	-㎡	路体	7.6㎡	-㎡
軟岩	-㎡	-㎡		-㎡	-㎡
表土(土砂)	0.0㎡				
合計	0.2㎡				
のり面工					
種散布工	左 1.8m 右 -m	種吹付A	左 -m 右 -m	左 -m 右 -m	



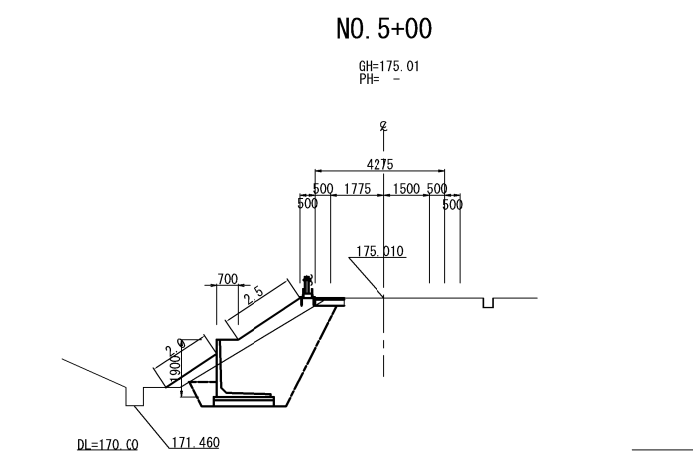
NO. 4+00					
地盤高	176.11m	土工施工高	-m	計画高	-m
切土面積		盛土面積			
土砂	0.3㎡	-㎡	路体	1.4㎡	-㎡
軟岩	-㎡	-㎡		-㎡	-㎡
表土(土砂)	0.8㎡				
合計	1.1㎡				
のり面工					
種散布工	左 1.8m 右 -m	種吹付A	左 0.2m 右 -m	左 -m 右 -m	



NO. 5+9.653 (EC3-0)					
地盤高	174.46m	土工施工高	-m	計画高	-m
切土面積		盛土面積			
土砂	0.1㎡	-㎡	路体	6.5㎡	-㎡
軟岩	-㎡	-㎡		-㎡	-㎡
表土(土砂)	0.0㎡				
合計	0.1㎡				
のり面工					
種散布工	左 2.8m 右 -m	種吹付A	左 -m 右 -m	左 -m 右 -m	



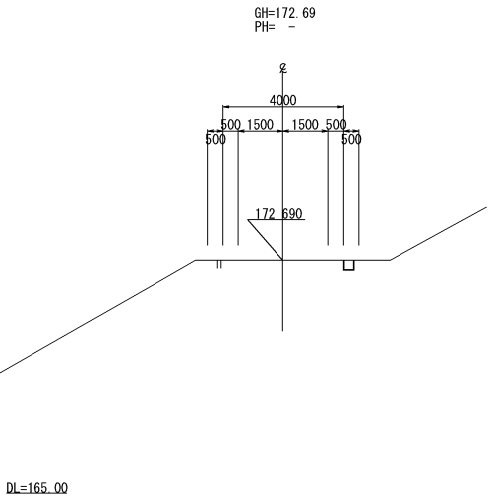
NO. 3+00					
地盤高	177.83m	土工施工高	-m	計画高	-m
切土面積		盛土面積			
土砂	-㎡	-㎡	路体	-㎡	-㎡
軟岩	-㎡	-㎡		-㎡	-㎡
表土(土砂)	-㎡				
合計	-㎡				
のり面工					
種散布工	左 -m 右 -m	種吹付A	左 -m 右 -m	左 -m 右 -m	



NO. 5+00					
地盤高	175.01m	土工施工高	-m	計画高	-m
切土面積		盛土面積			
土砂	0.2㎡	-㎡	路体	7.8㎡	-㎡
軟岩	-㎡	-㎡		-㎡	-㎡
表土(土砂)	0.0㎡				
合計	0.2㎡				
のり面工					
種散布工	左 4.5m 右 -m	種吹付A	左 -m 右 -m	左 -m 右 -m	

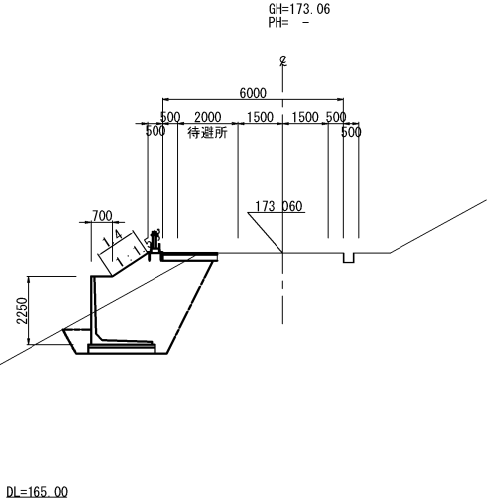
秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事			
図面の種類	岩沢工事用道路① 横断図(2)		
縮尺	1:250	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工務事務所		

NO. 7+00 (EP)



NO. 7+00 (EP)					
地盤高	172.69m	土工施工高	-m	計画高	-m
切土面積		盛土面積			
土砂	-㎡	-㎡	路体	-㎡	-㎡
軟岩	-㎡	-㎡		-㎡	-㎡
表土(土砂)	-㎡				-㎡
合計	-㎡				
のり面工					
種散布工	左 -m	種吹付A	左 0.2m	左 -m	-m
	右 -m		右 -m	右 -m	-m

NO. 6+12.200



NO. 6+12.200					
地盤高	173.06m	土工施工高	-m	計画高	-m
切土面積		盛土面積			
土砂	0.2㎡	-㎡	路体	8.4㎡	-㎡
軟岩	-㎡	-㎡		-㎡	-㎡
表土(土砂)	0.0㎡				-㎡
合計	0.2㎡				
のり面工					
種散布工	左 1.4m	種吹付A	左 -m	左 -m	-m
	右 -m		右 -m	右 -m	-m

秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事			
図面の種類	岩沢工事用道路①		
	横断図(3)		
縮尺	1:250	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

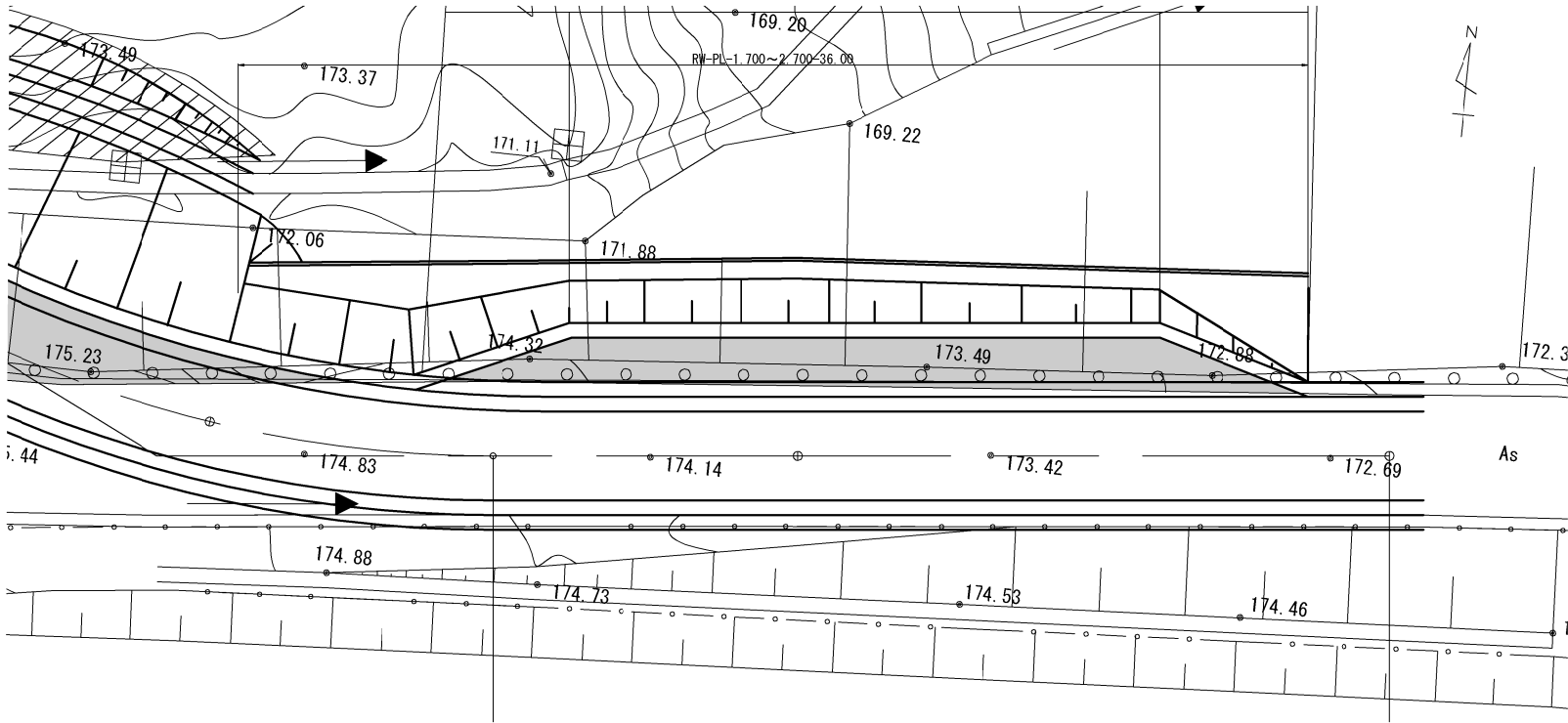


岩沢工事用道路① L型擁壁工詳細図

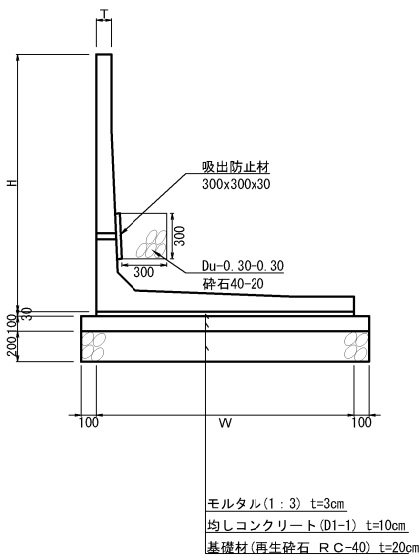
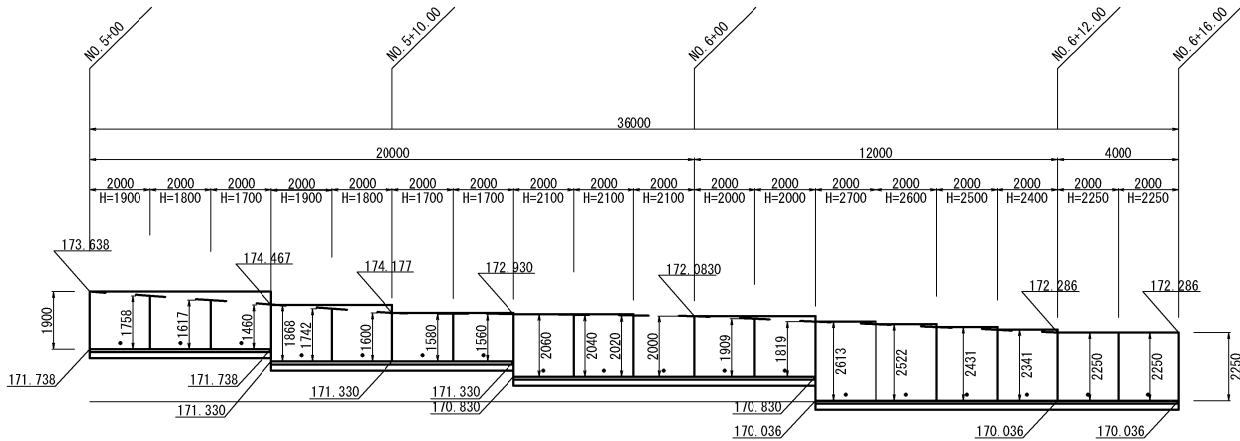
プレキャストL型擁壁工

標準断面図 S=1:50

平面図 S=1:250



展開図 S=1:250



寸法表		
擁壁高 H (mm)	T (mm)	VV (mm)
1700	100	1700
1800	100	1750
1900	100	1800
2000	100	1850
2100	100	2000
2250	100	2000
2400	100	2150
2500	100	2150
2600	100	2300
2700	100	2300

設計条件

形 式	プレキャストL型擁壁	
使用材料	裏 込 土	礫混じり粘性土
	支持地盤	礫混じり粘性土
	内部摩擦角	$\phi = 30.0^\circ$
単位体積重量	鉄筋コンクリート	$\gamma_c = 24.5 \text{ kN/m}^3$
	裏 込 土	$\gamma_s = 18.0 \text{ kN/m}^3$
壁面摩擦角	土と土	$\delta = \beta$
	土とコンクリート	$2 \cdot \phi / 3$
上載荷重	$q' = 10.0 \text{ kN/m}^2$	
土 圧	試 行 く さ び 法	
コンクリートの設計基準強度	$\sigma_{ck} = 35.0 \text{ N/mm}^2$	
コンクリートの許容曲げ圧縮応力度	$\sigma_{ca} = 12.0 \text{ N/mm}^2$	
鉄筋の許容引張応力度	$\sigma_{sa} = 160 \text{ N/mm}^2$	
コンクリートの許容せん断応力度	$\tau_{a1} = 0.26 \text{ N/mm}^2$	

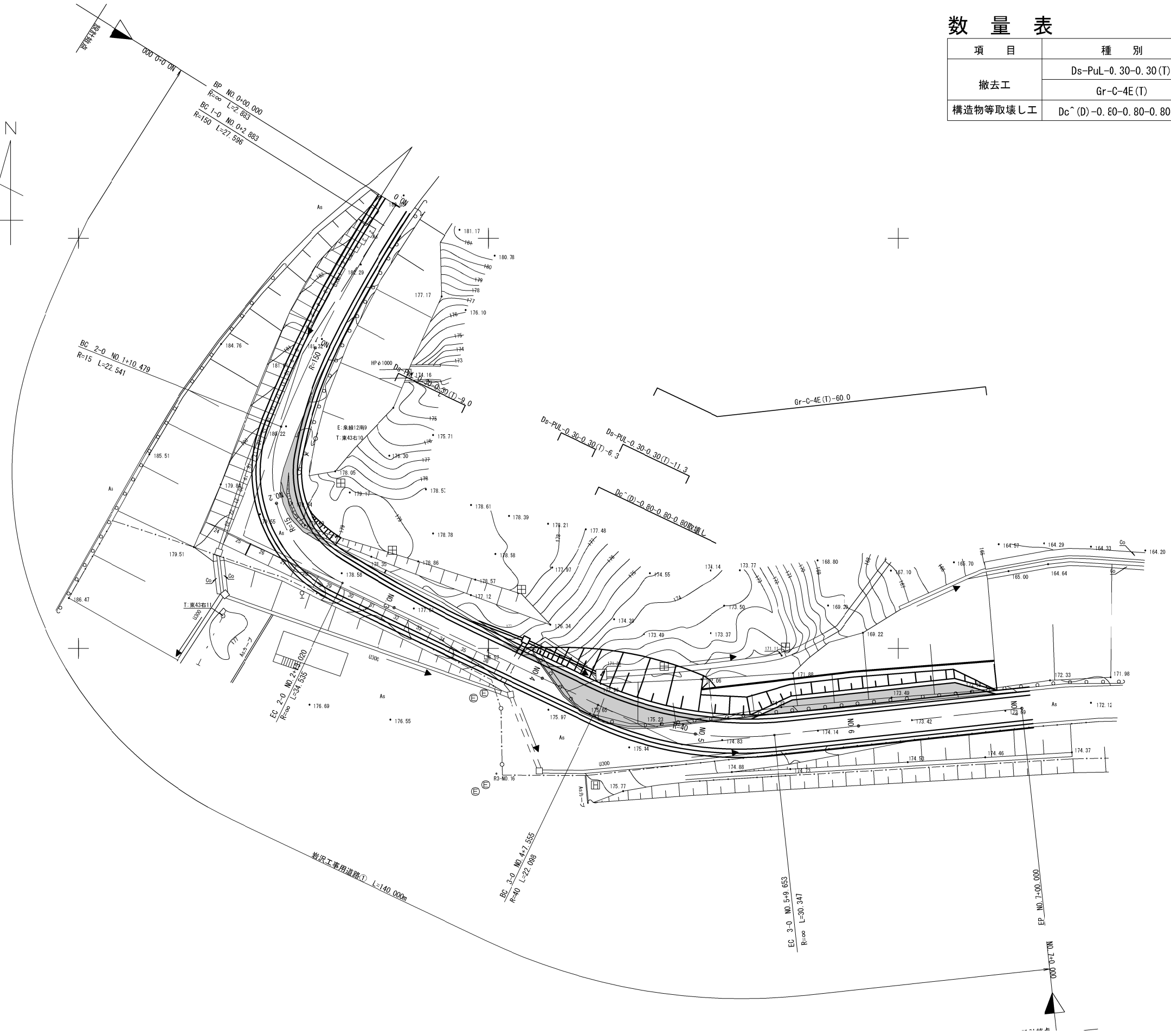
材 料 表

							1式当り
項 目	種 別	単位	数 量	モルタル(1:3)	均しコンクリートD1-1	型 枠 D	基礎材 B
プレキャスト L型擁壁	H1700×w1700×T100	m	6.0	0.306	1.140	1.200	1.560
	H1800×w1750×T100	m	4.0	0.210	0.780	0.800	1.560
	H1900×w1800×T100	m	4.0	0.216	0.800	0.800	1.600
	H2000×w1850×T100	m	4.0	0.222	0.820	0.800	1.640
	H2100×w2000×T100	m	6.0	0.360	1.320	1.200	2.640
	H2250×w2000×T100	m	4.0	0.240	0.880	0.800	1.760
	H2400×w2150×T100	m	2.0	0.129	0.470	0.400	0.940
	H2500×w2150×T100	m	2.0	0.129	0.470	0.400	0.940
	H2600×w2300×T100	m	2.0	0.138	0.500	0.400	1.000
	H2700×w2300×T100	m	2.0	0.138	0.500	0.400	1.000
合 計		m	36.0	2.088 (m3)	7.680 (m3)	7.200 (m)	15.360 (m3)

秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事			
図面の種類	岩沢工事用道路① L型擁壁工詳細図		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 東北支社 積 手 工 事 務 所		

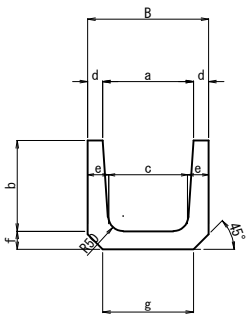
数 量 表

項 目	種 別	単位	数 量	摘 要
撤去工	Ds-PuL-0.30-0.30(T)	m	26.6	
	Gr-C-4E(T)	m	60.0	
構造物等取壊し工	Dc^(D)-0.80-0.80-0.80(T)	箇所	1	



秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事			
図面の種類	岩沢工事用道路① 撤去平面図		
縮 尺	1:500	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横 手 工 事 事 務 所		

Ds-PuL



寸 法 表

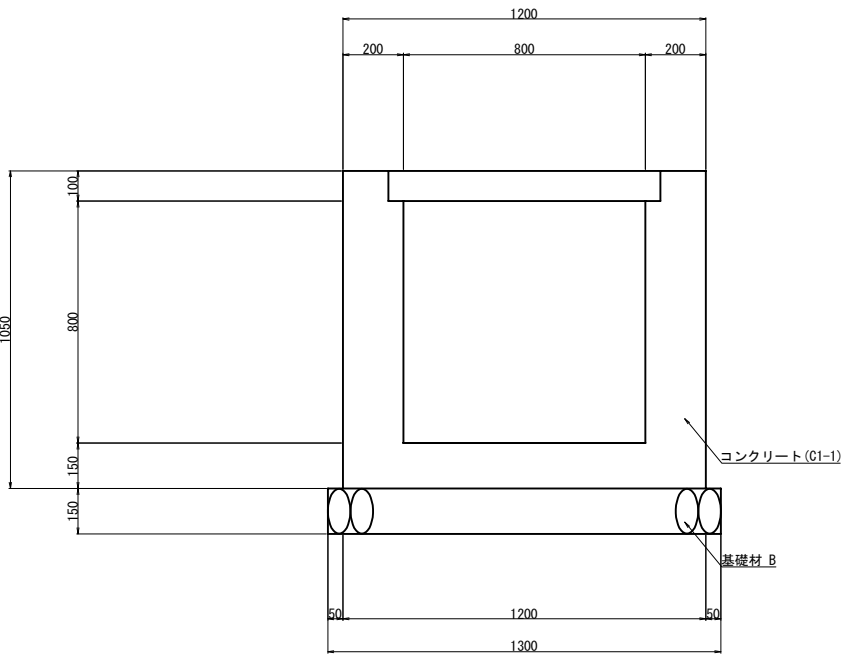
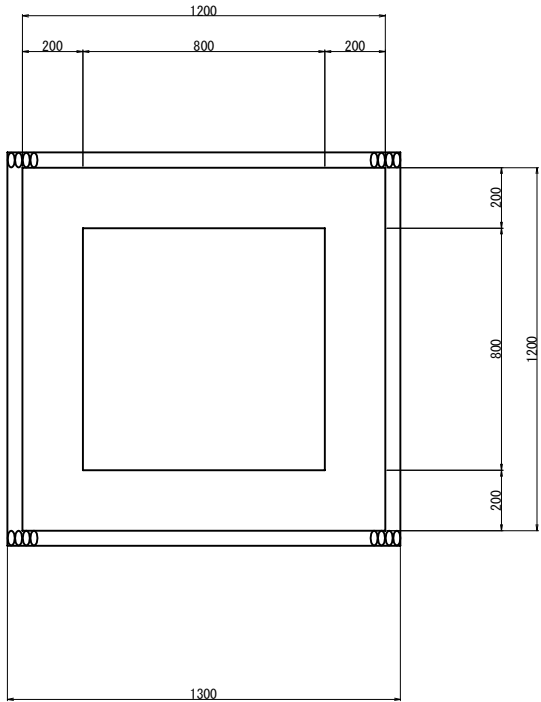
種 別	項 目	寸 法 (mm)								參考質量 (kg)
		a	b	c	d	e	f	g	B	
Ds-PuL	-0.3-0.3	300	300	260	40	50	50	300	380	222

材 料 表

10m当り

項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要
Ds-PuL-0.30-0.30	有筋	m	0.46	222kg/2.0m

Dc^(D)-0.80-0.80-0.80



材 料 表

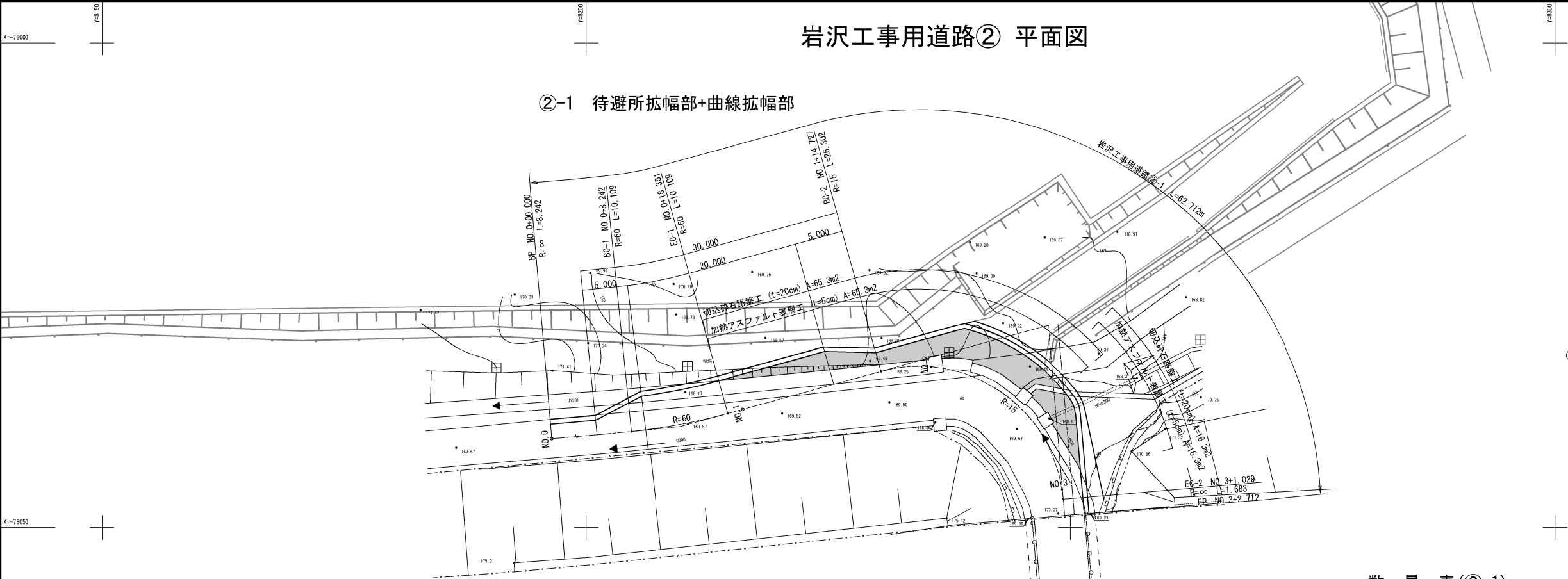
1箇所当り

項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要
Dc^(D)-0.80-0.80-0.80	集水ます 無筋	m	0.79	図集より
	ふた 有筋	m	0.08	図集より

秋 田 自 動 車 道 和賀仙人トンネル東工事			
図面の種類	岩沢工事用道路① 撤去詳細図		
縮 尺	1:25	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横 手 工 事 事 務 所		

岩沢工事用道路② 平面図

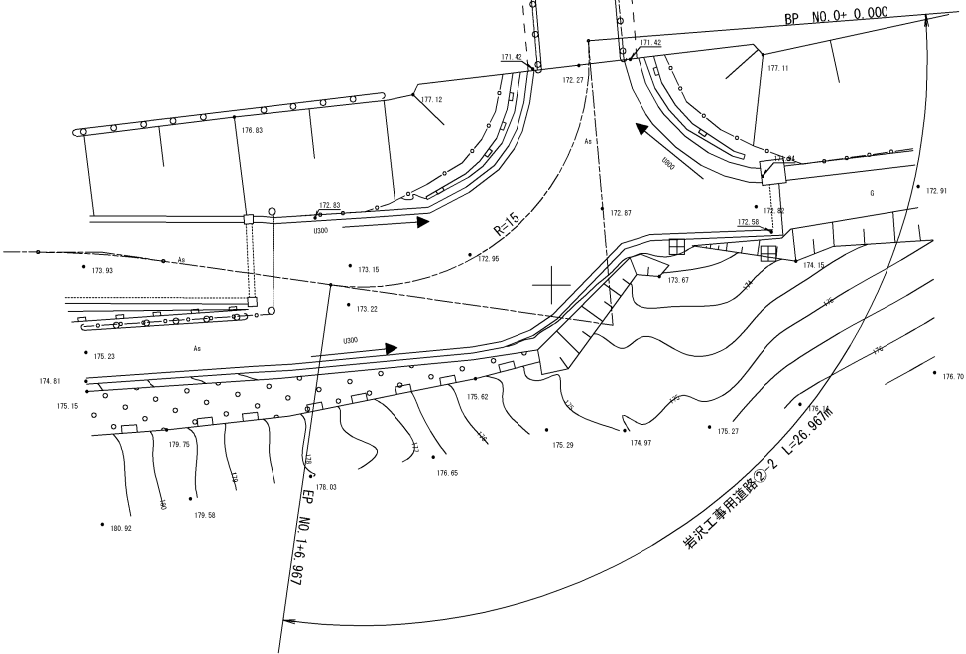
②-1 待避所拡幅部+曲線拡幅部



数量表(②-1)

項目	種別	単位	数量	摘要
道路掘削	土砂	m3	27.2	
盛土工	路体	m3	1.7	
のり面工	種散布工	m2	4.3	
	種吹付 A	m2	16.3	
簡易舗装工	再生加熱アスファルト表層工 t=5cm	m2	81.6	
	切込砕石路盤工 t=20cm	m2	81.6	

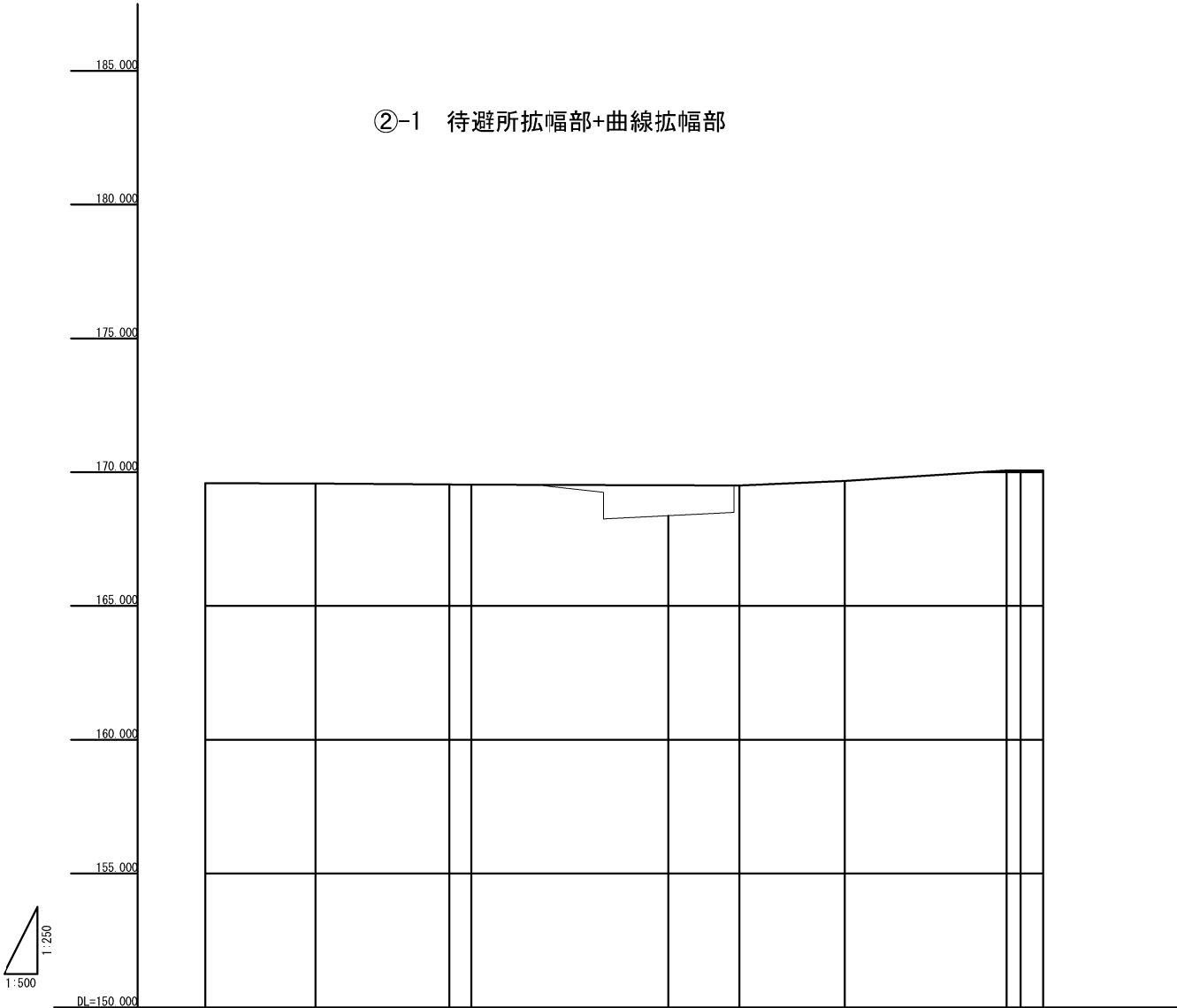
②-2 曲線拡幅部



秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事			
図面の種類	岩沢工事用道路② 平面図		
縮尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工務事務所		

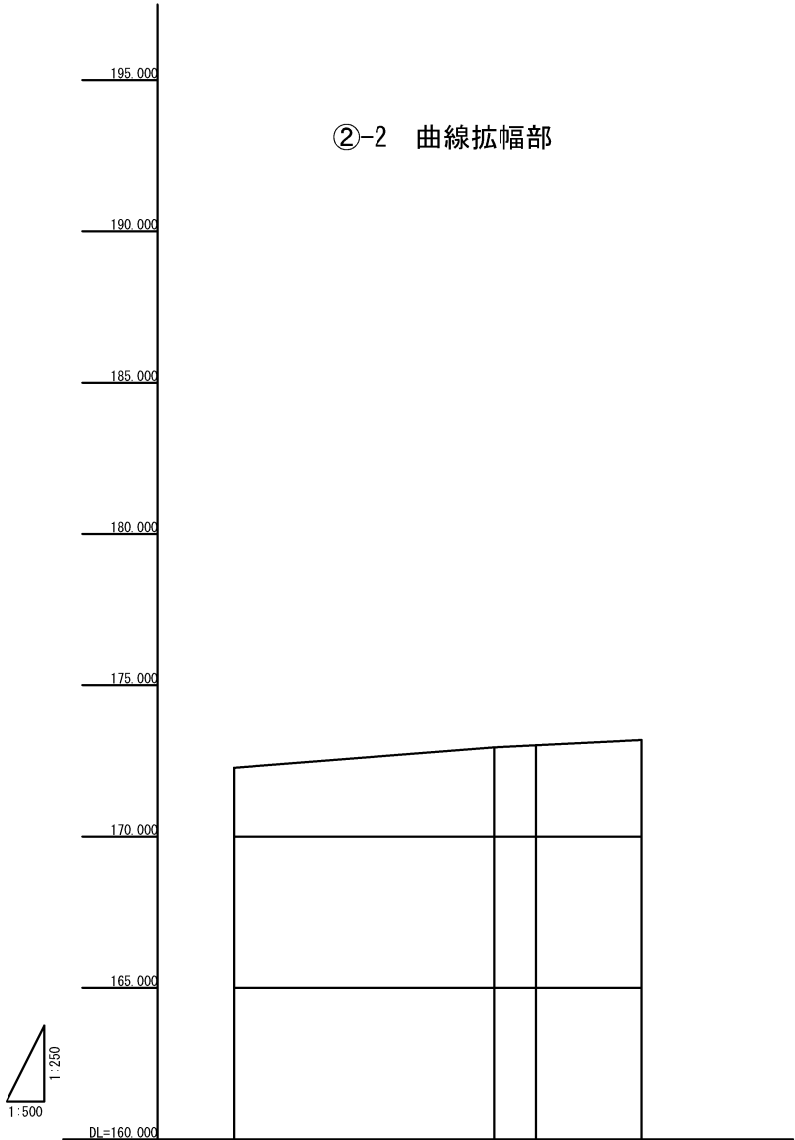


②-1 待避所拡幅部+曲線拡幅部



勾配	
盛土高	1.136
切土高	
計画高	169.590 169.580 169.540 169.540 169.511 169.500 169.670 170.070 170.070 170.070
地盤高	169.59 169.58 169.54 169.54 168.37 169.50 169.67 170.07 170.07 170.07
累加距離	0.000 8.242 18.351 20.000 34.727 40.000 47.877 60.000 61.029 62.712
単距離	0.000 8.242 10.109 1.649 14.727 5.273 7.877 12.123 1.029 1.684
測点	BP BC 1-0 EC 1-0 NO. 1 BC 2-0 NO. 2 +7.877 NO. 3 EC 2-0 EP
曲率	$R=\infty$ $L=8.242$ $IA=9.39-11$ $CL=10.109$ $R=69$ $L=10.109$ $R=\infty$ $L=16.376$ $L=26.302$ $R=15$ $IP=1P.2$ $IA=100-28-00$ $CL=26.302$ $R=\infty$ $L=1.684$
片勾配 すいりげ図	

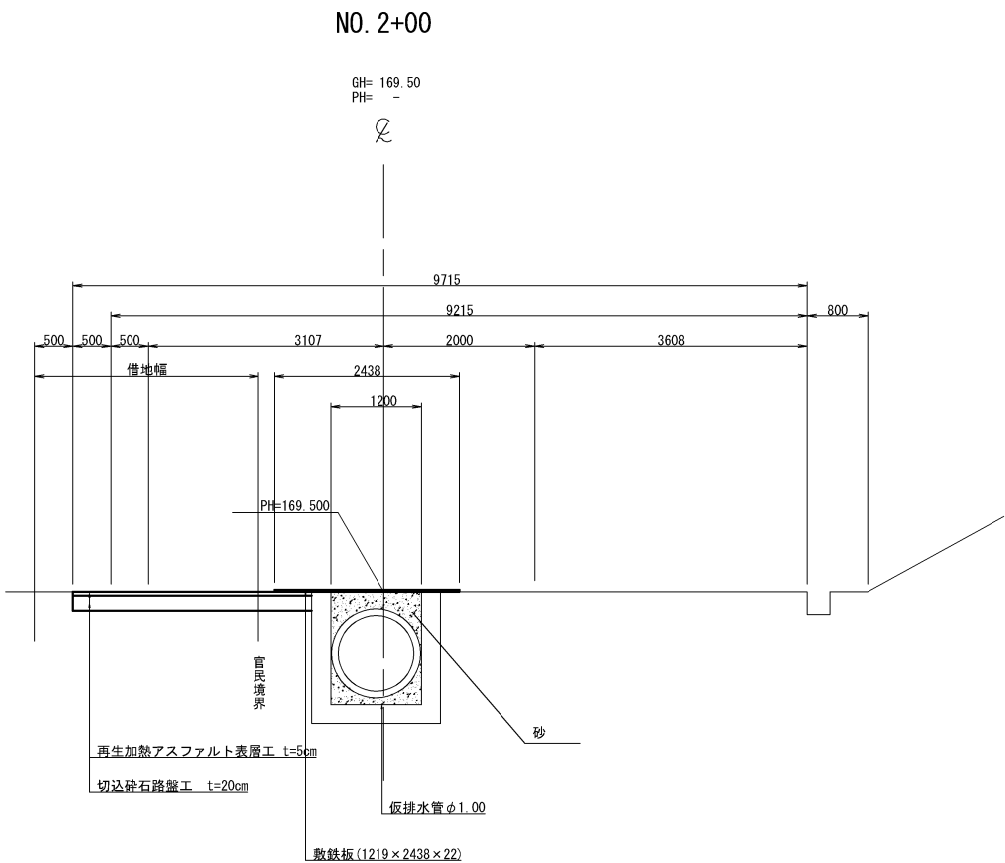
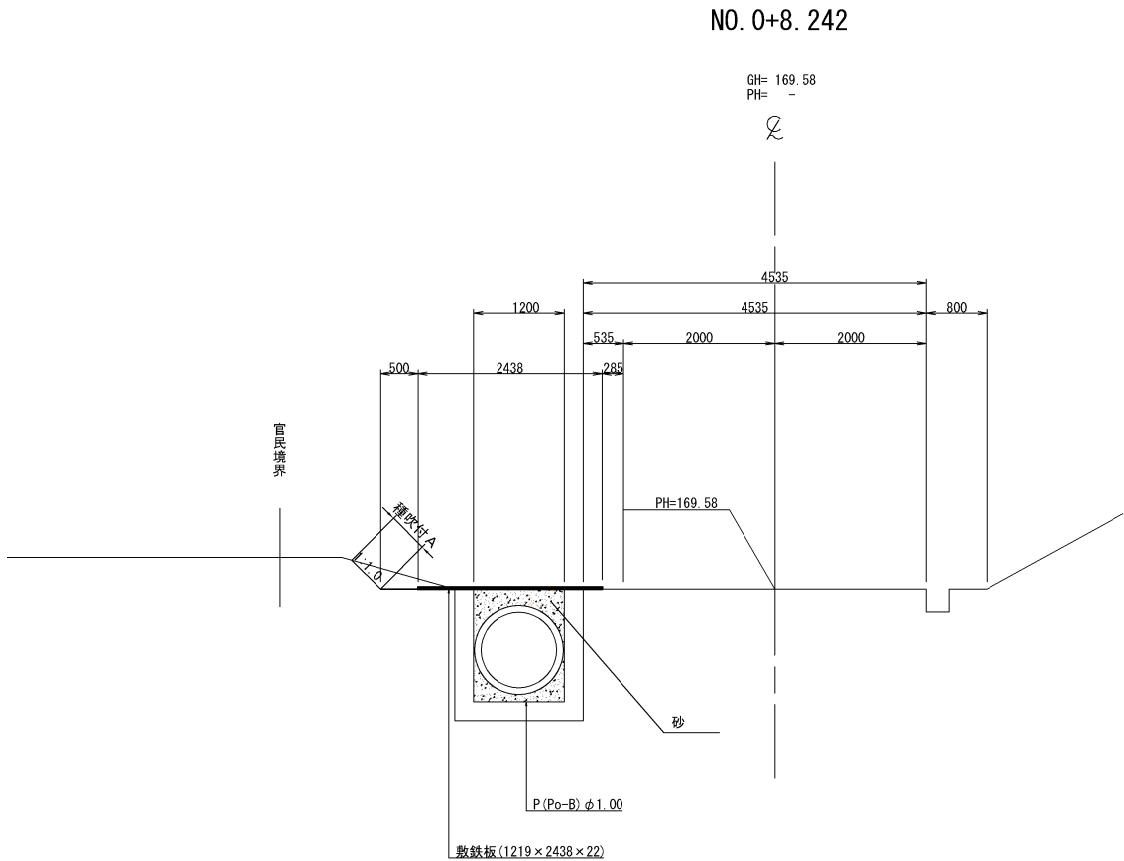
②-2 曲線拡幅部



勾配	
盛土高	
切土高	
計画高	172.270 172.950 173.020 173.200
地盤高	172.27 172.95 173.02 173.20
累加距離	0.000 17.200 20.000 26.967
単距離	0.000 17.200 2.800 6.967
測点	BC 1-0 +17.200 NO. 1 EP
曲率	$L=26.967$ $R=15$ $IP=1P.1$ $IA=103-00-18$ $CL=26.967$
片勾配 すいりげ図	

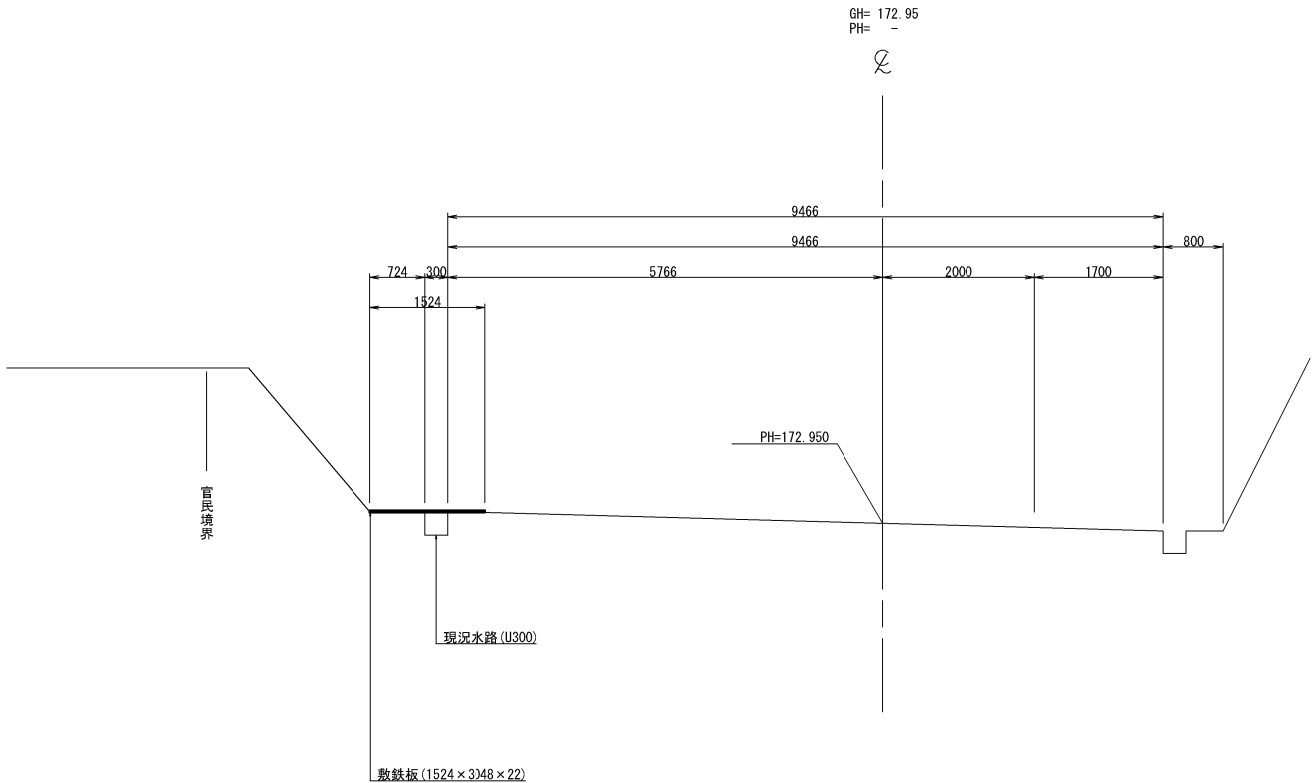
岩沢工事用道路② 標準横断面図

②-1 待避所拡幅部+曲線拡幅部



②-2 曲線拡幅部

NO. 0+13. 483



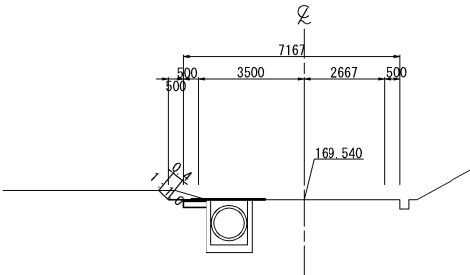
秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事			
図面の種類	岩沢工事用道路② 標準横断面図		
縮尺	1:100	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

岩沢工事用道路②-1 横断図

②-1 待避所拡幅部+曲線拡幅部

NO. 1+00

GH= 169.54  
PH= -

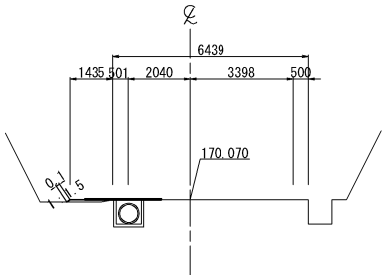


DL=165.00

NO. 1+00					
地盤高	169.54m	土工施工高	-m	計画高	-m
切土面積	0.5㎡	盛土面積	-㎡	路体	-㎡
軟岩	-㎡	路盤	-㎡	表土(土砂)	-㎡
合計	0.5㎡	のり面工			
種散布工	左 -m	種吹付A	左 0.4m	左 -m	
	右 -m		右 -m	右 -m	

NO. 3+00

GH=170.07  
PH= -

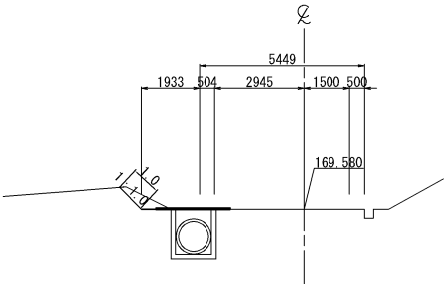


DL=165.00

NO. 3+00					
地盤高	170.07m	土工施工高	-m	計画高	-m
切土面積	-㎡	盛土面積	0.1㎡	路体	-㎡
軟岩	-㎡	路盤	-㎡	表土(土砂)	-㎡
合計	-㎡	のり面工			
種散布工	左 0.1m	種吹付A	左 -m	左 -m	
	右 -m		右 -m	右 -m	

NO. 0+8.242(BC1-0)

GH=169.58  
PH= -

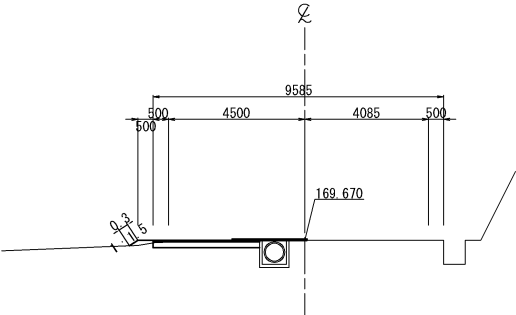


DL=165.00

NO. 0+8.242(BC1-0)					
地盤高	169.58m	土工施工高	-m	計画高	-m
切土面積	0.4㎡	盛土面積	-㎡	路体	-㎡
軟岩	-㎡	路盤	-㎡	表土(土砂)	-㎡
合計	0.4㎡	のり面工			
種散布工	左 -m	種吹付A	左 1.0m	左 -m	
	右 -m		右 -m	右 -m	

NO. 2+7.877

GH= 169.67  
PH= -

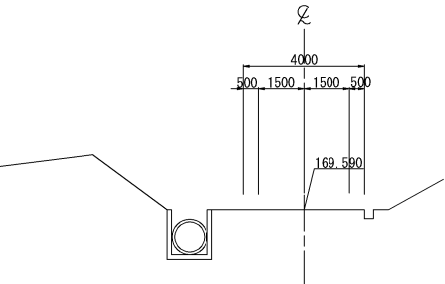


DL=165.00

NO. 2+7.877					
地盤高	169.67m	土工施工高	-m	計画高	-m
切土面積	0.7㎡	盛土面積	-㎡	路体	-㎡
軟岩	-㎡	路盤	-㎡	表土(土砂)	-㎡
合計	0.7㎡	のり面工			
種散布工	左 0.3m	種吹付A	左 -m	左 -m	
	右 -m		右 -m	右 -m	

NO. 0+00

GH=169.59  
PH= -

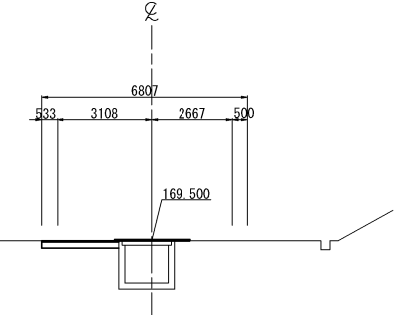


DL=165.00

NO. 0+0(BP)					
地盤高	169.59m	土工施工高	-m	計画高	-m
切土面積	-㎡	盛土面積	-㎡	路体	-㎡
軟岩	-㎡	路盤	-㎡	表土(土砂)	-㎡
合計	-㎡	のり面工			
種散布工	左 -m	種吹付A	左 -m	左 -m	
	右 -m		右 -m	右 -m	

NO. 2+00

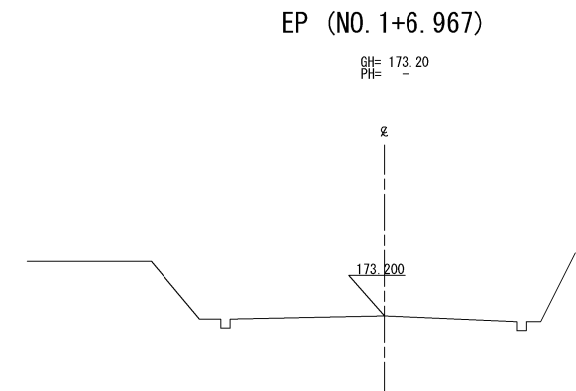
GH= 169.50  
PH= -



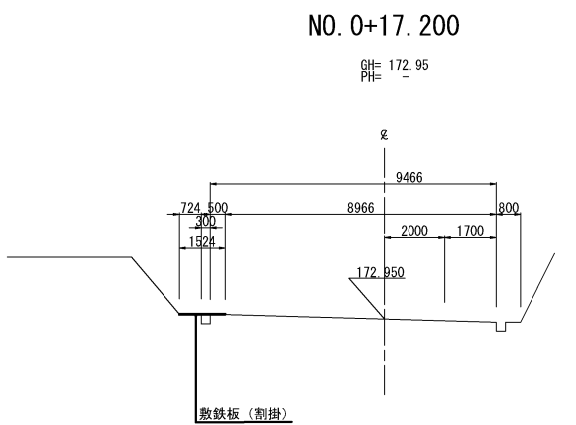
DL=165.00

NO. 2+00					
地盤高	169.50m	土工施工高	-m	計画高	-m
切土面積	0.6㎡	盛土面積	-㎡	路体	-㎡
軟岩	-㎡	路盤	-㎡	表土(土砂)	-㎡
合計	0.6㎡	のり面工			
種散布工	左 -m	種吹付A	左 -m	左 -m	
	右 -m		右 -m	右 -m	

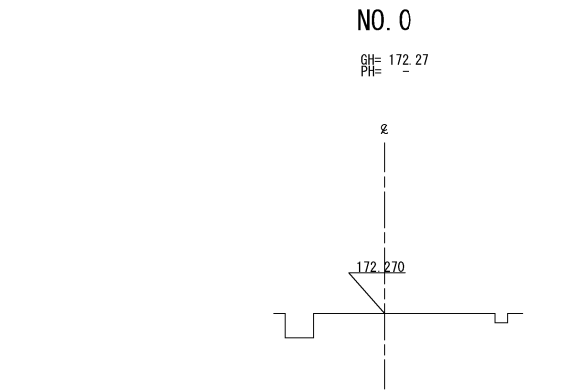
秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事			
図面の種類	岩沢工事用道路②-1 横断図		
縮尺	1:250	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工務所		



EP (NO. 1+ 6. 967)					
地 盤 高	173. 20 m	土工施工高	- m	計 画 高	- m
切 土 面 積		盛 土 面 積			
土 砂	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	路 体	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>
軟 岩	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	路 盤	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>
路 盤	- m <sup>2</sup>				- m <sup>2</sup>
表土 (土砂)	- m <sup>2</sup>				
合 計	- m <sup>2</sup>				
の り 面 工					
種散布工	左 - m 右 - m	種吹付A	左 - m 右 - m		左 - m 右 - m



NO. 0+13. 483					
地 盤 高	172. 95 m	土工施工高	- m	計 画 高	- m
切 土 面 積		盛 土 面 積			
土 砂	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	路 体	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>
軟 岩	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	路 盤	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>
路 盤	- m <sup>2</sup>				- m <sup>2</sup>
表土 (土砂)	- m <sup>2</sup>				
合 計	- m <sup>2</sup>				
の り 面 工					
種散布工	左 - m 右 - m	種吹付A	左 - m 右 - m		左 - m 右 - m

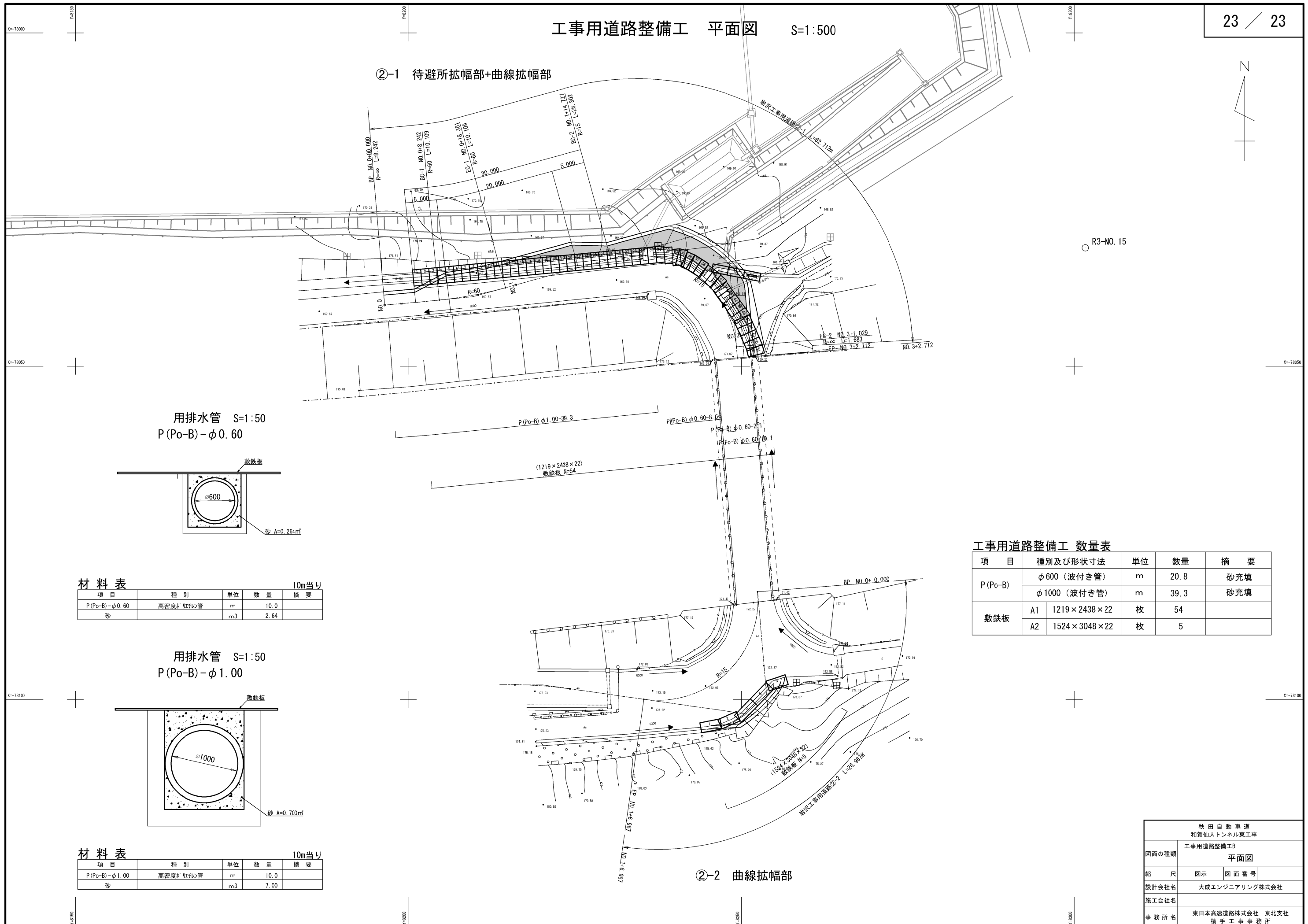


NO. 0+ 1. 533					
地 盤 高	17. 27 m	土工施工高	- m	計 画 高	- m
切 土 面 積		盛 土 面 積			
土 砂	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	路 体	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>
軟 岩	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	路 盤	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>
路 盤	- m <sup>2</sup>				- m <sup>2</sup>
表土 (土砂)	- m <sup>2</sup>				
合 計	- m <sup>2</sup>				
の り 面 工					
種散布工	左 - m 右 - m	種吹付A	左 - m 右 - m		左 - m 右 - m

秋 田 自 動 車 道 和賀仙人トンネル東工事			
図面の種類	岩沢工事用道路②-2 横断図		
縮 尺	1 : 250	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横 手 工 事 事 務 所		



### ②-2 曲線拡幅部



項 目	種別及び形状寸法	単位	数量	摘 要
P (Pc-B)	φ 600 (波付き管)	m	20.8	砂充填
	φ 1000 (波付き管)	m	39.3	砂充填
敷鉄板	A1 1219×2438×22	枚	54	
	A2 1524×3048×22	枚	5	

秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事			
工事用道路整備Ⅱ		平面図	
図面の種類			
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 機手工事事務所		